

HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書別添付

日立エコキュート 家庭用ヒートポンプ給湯機

給湯専用（オートストップ機能付）

システム型式	ピーエッチピー	ゼットエー	ピーユー
	BHP-ZA46PU		
	ピーエッチピー	ゼットエー	ピーユー
	BHP-ZA37PU		

給湯専用

システム形式	ピーエッチピー	ゼット	ピーユー
	BHP-Z46PU		
	ピーエッチピー	ゼット	ピーユー
	BHP-Z37PU		

耐塩害仕様は、型式の末尾に「E」がつきます。
耐重塩害仕様は、型式の末尾に「J」がつきます。

このたびは家庭用ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。**この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。**

お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・工事説明書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」 → P.5～9 をお読みいただき、正しくお使いください。

ご注意

この給湯機は時間帯別電灯契約、または季節別時間帯別電灯契約専用です。これらの契約は、時間帯により、電気料金が異なります。リモコンの時刻がずれていると電気料金が高くなることもあるため、リモコンの時刻が正しく設定されているか確認してください。

BB0048124A



もくじ

ご使用のまえに

エコキュートのしくみ	2
お湯を沸かし、タンクにため、設定温度のお湯を作るしくみ ..	2
お湯を沸かす電気料金を節約するしくみ	2
エコキュートの構成と各部の名前、はたらき ..	3
ヒートポンプユニット/貯湯ユニット(タンク)/リモコン ..	3
配管(例)/配線(例)	4
安全上のご注意	5
使用上のお願いとお知らせ	10
リモコンの操作ボタンと表示画面	11
台所リモコンの操作ボタンのはたらき	11
表示画面(台所リモコン)	11
表示画面の内容	11
表示画面の見やすさ調整	12
操作ボタンの種類と基本動作	13
機能を運転する運転ボタン/機能を設定するボタン ..	13
運転や設定内容をお知らせするボタン	13
給湯機の設定メニューを表示するボタン	14
給湯機の設定メニューを設定するボタン(設定の操作手順) ..	15
タンク残湯量目盛表示の見かた	16

使いかた

エコキュートの上手な使いかたポイント	17
上手にお湯を沸き上げる	17
上手に機能を使い、上手にお湯を使う	18
はじめてご使用のときの確認と設定	19
給湯機とリモコンの確認	19
給湯機・リモコンに必要な項目の一括設定	20
混合水栓(蛇口)の種類と正しい使いかた ..	22
「給湯」を使う	23
台所や洗面所などの蛇口からお湯を使う	23
「ふろ」を使う	24
準備から湯はりまでの操作・運転流れ	24
「湯はり温度」「湯はり湯量」の確認・設定のしかた ..	24
「湯量お知らせ」運転の操作と運転内容	25
節約サポート機能の使いかた	27
使用湯量目安/残湯量目安	28
シャワーアラーム	29
おすすめ設定/上手な使いかた	31
「タンク沸き増し」のしかた	32
「タンク沸き増し」運転のしかた	32
「使用休止」予約のしかた	33
給湯機の運転停止と再運転のしかた	34
運転停止のしかた	34
再運転のしかた	35
タンクのお湯(水)の非常時使用のしかた	37
停電したときの使いかた	38
停電中/停電復帰時	38
断水したときの使いかた	38
断水中/断水復帰時	38
凍結防止のしかた	39
給水配管、給湯配管の凍結防止策	39
配管全体の凍結防止策	39

お手入れと確認・点検

リモコン/時刻表示/漏電遮断器/配管全体	40
逃し弁/タンク	41

給湯機の設定

時間帯別電灯契約の「契約番号」の設定	42
タンクに自動的に沸き上げるお湯の量の設定 ..	43
沸き上げ設定	43
湯切れ防止/節約設定	44
音声案内の設定	45
音声ガイド内容設定/ガイド・操作音量設定	45
現在年月日・現在時刻の設定	46
バックライト点灯時間の設定	47
湯はり完了音の設定	47
工場出荷時設定	48

お困りのときは

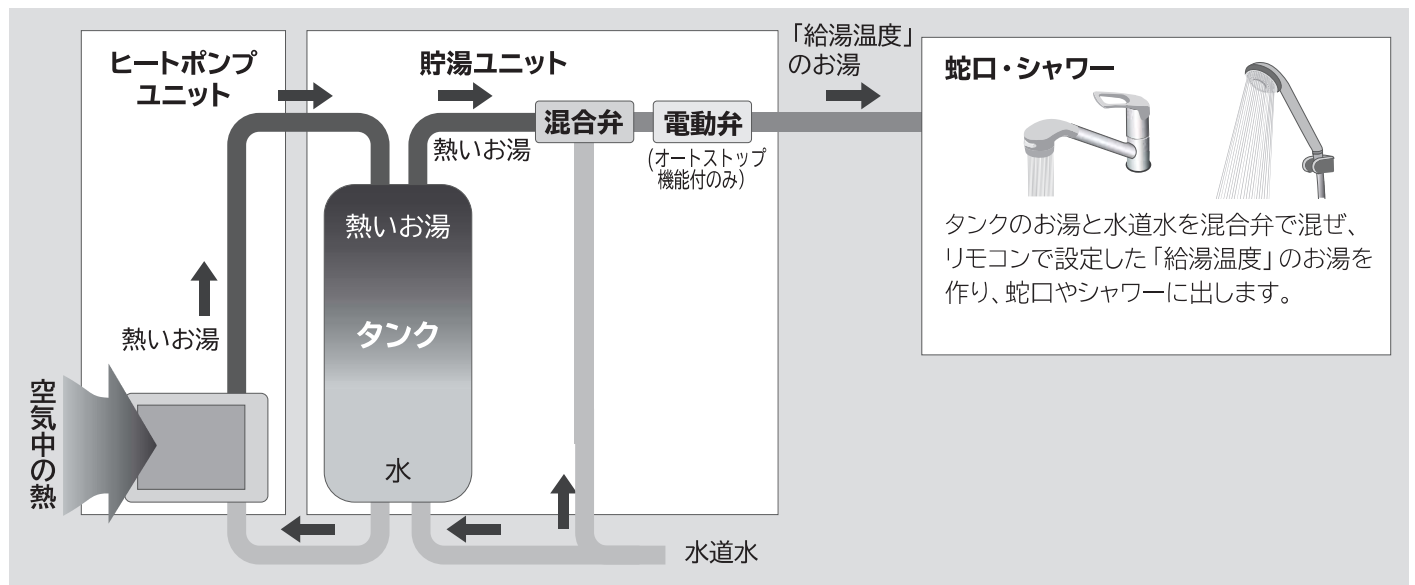
リモコンにこんな表示が表示されたときは	49
点検表示の解除(標準画面に戻す)のしかた	49
お問い合わせ項目もくじ	50
こんなときには、修理を依頼される前に確認を ..	51
貯湯ユニット(タンク)	51
ヒートポンプユニット	51
給湯	52
ふろ	53
リモコン	53
仕様	55
用語集	56
保証とアフターサービス	57

エコキュートのしくみ

- エコキュートは、空気中の熱を利用してお湯を沸かす（ヒートポンプ式）給湯システムです。電気エネルギーを約3倍の熱エネルギーに変え、効率よくお湯を沸かします。

■お湯を沸かし、タンクにため、設定温度のお湯を作るしくみ

- ヒートポンプユニットで空気中の熱を集め、この熱で貯湯ユニットのタンクからの水を加熱し、お湯に沸き上げ、タンクに戻し、ためます。タンクのお湯と水道水を使い「給湯温度」「湯はり温度」のお湯を作ります。
- タンクのお湯は、浴そうの湯はりや蛇口、シャワーなどで使った分だけ減りますが、減った分だけ水道水が給水されるため、タンク内は常にお湯(水)で満たされています。



■お湯を沸かす電気料金を節約するしくみ

- この給湯機は、深夜時間帯の電気料金が割安になる時間帯別電灯契約、または季節別時間帯別電灯契約で契約されています。お湯を沸かしタンクにためることを、自動で主に深夜時間帯に行うことで、電気料金を節約します。
- 深夜時間帯は、各契約内容によって異なりますので、契約内容を確認の上、ご使用ください。

→ P.42

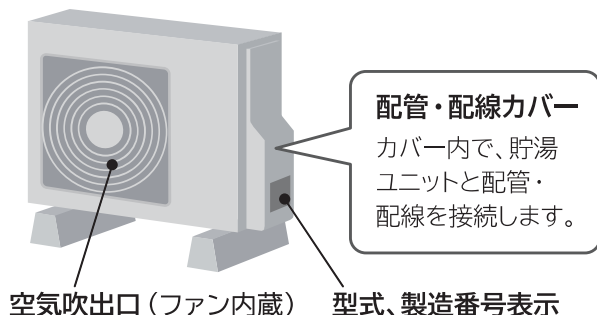
ご不明の場合は、お買い上げの販売店
または工事店にお問い合わせください。

エコキュートの構成と各部の名前、はたらき

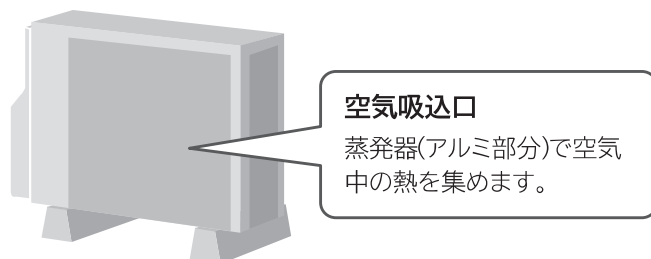
●エコキュートは、お湯を沸かす「ヒートポンプユニット」、沸かしたお湯をためる「貯湯ユニット」、運転内容を設定する「台所リモコン」で構成されています。

ヒートポンプユニット

ヒートポンプユニット前面

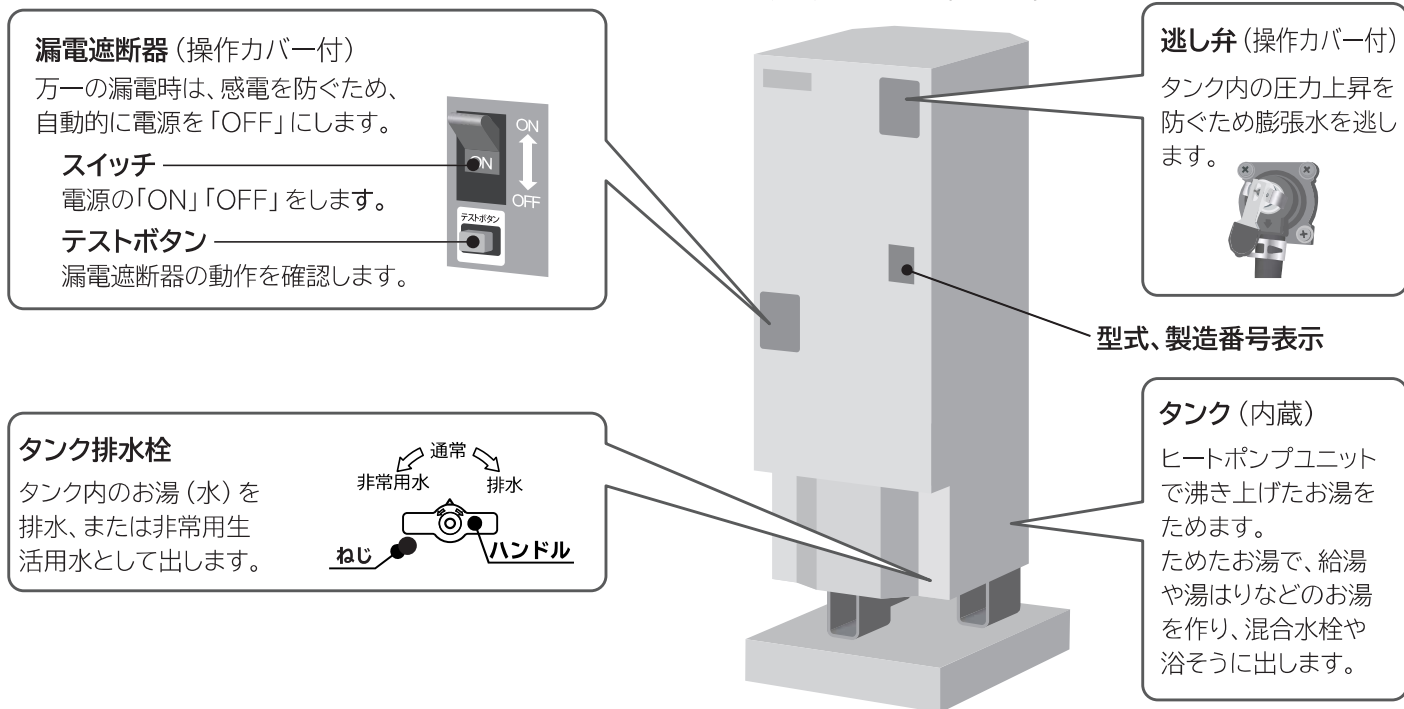


ヒートポンプユニット裏面



貯湯ユニット（タンク）

貯湯ユニット（タンク）

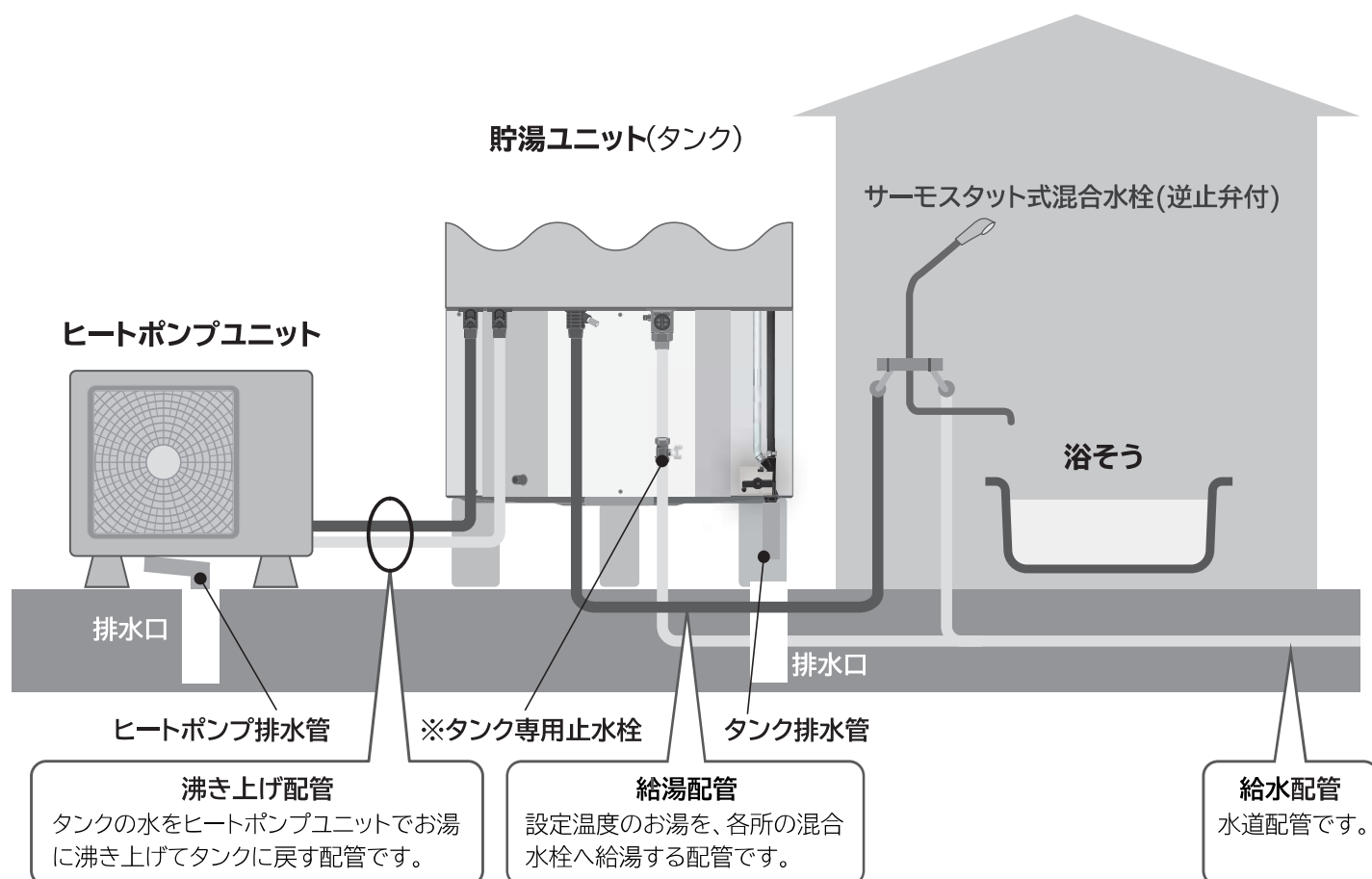


リモコン

台所リモコン

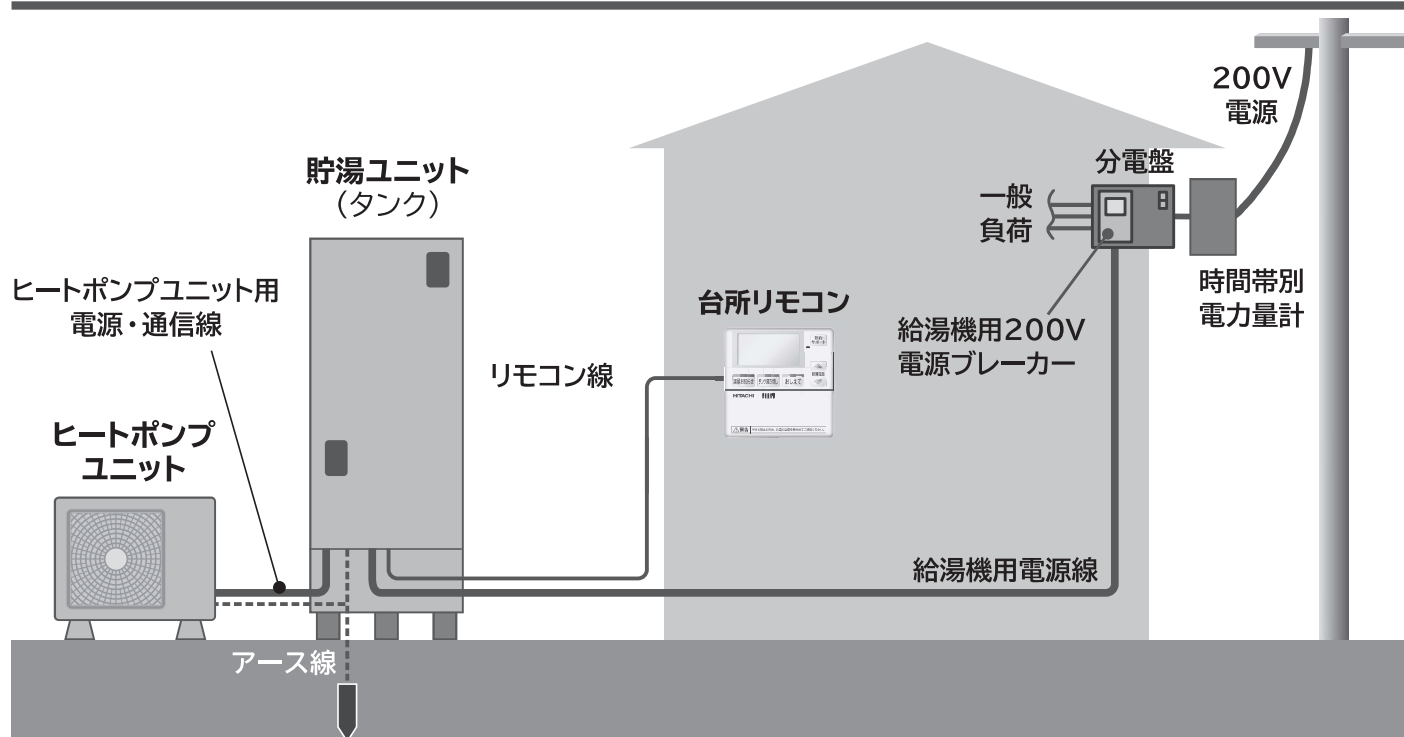


配管 (例)



※タンク専用止水栓は、工事業者によって取り付けられますので、取り付け位置や形状はお客さまごとに異なります。確認できない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

配線 (例)



安全上のご注意

人身への危害、財産への損害を未然に防ぐためにお守りいただくことを、次のように区分して説明しています。本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

●誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

●お守りいただく内容を絵表示で区分して説明しています。

危害や損害とその程度の区分



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「重傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



実行していただく「指示」内容のものです。

据付けの確認

警告



禁止

ヒートポンプユニットは屋内に設置しない

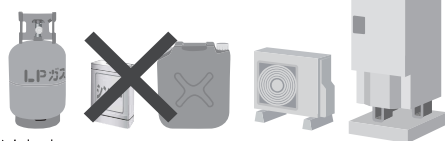


●万一冷媒 (CO₂) が漏れると、酸欠により死亡、または重傷事故 (脳機能障害等) に至ることがあります。



禁止

ヒートポンプユニットや貯湯ユニットの近くに、ガス類や引火物を置かない

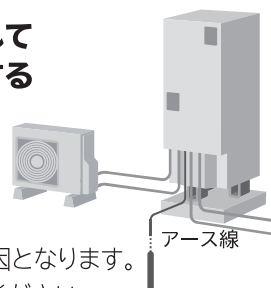


●発火の原因になります。



アース工事

アース工事がされていることを確認する



●故障や漏電のときに感電の原因となります。販売店または工事店にご確認ください。



確認

シャワー水栓は必ずサーモスタット付混合水栓を使用する

●サーモスタット混合水栓を使用しないと、やけどの原因となります。

注意



禁止

ヒートポンプユニットの下に濡れて困るものを置かない

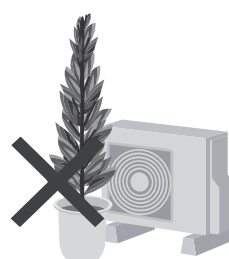
●水滴が滴下する場合があり、汚損や故障の原因になることがあります。



確認

ヒートポンプユニットの周囲にはものを置いたり、落ち葉などがたまらないようにする

●虫などが侵入し、発火、発煙または故障の原因になることがあります。



据付けの確認（つづき）

⚠ 注意



水質基準に適合した水を使用し、井戸水、地下水、温泉水は使用しない

禁止

●腐食による水漏れや配管詰まりによる機器の故障の原因となることがあります。



動植物に直接風をあてない

禁止

●動植物に悪影響を及ぼす原因となることがあります。



確認

各ユニットがアンカーボルトなどで固定されていることを確認する

貯湯ユニット……………脚3か所

転倒防止金具1か所

（2階以上に設置する場合は天部も固定されているか確認する）

ヒートポンプユニット…脚4か所

●地震などにより転倒して、けがをすることがあります。

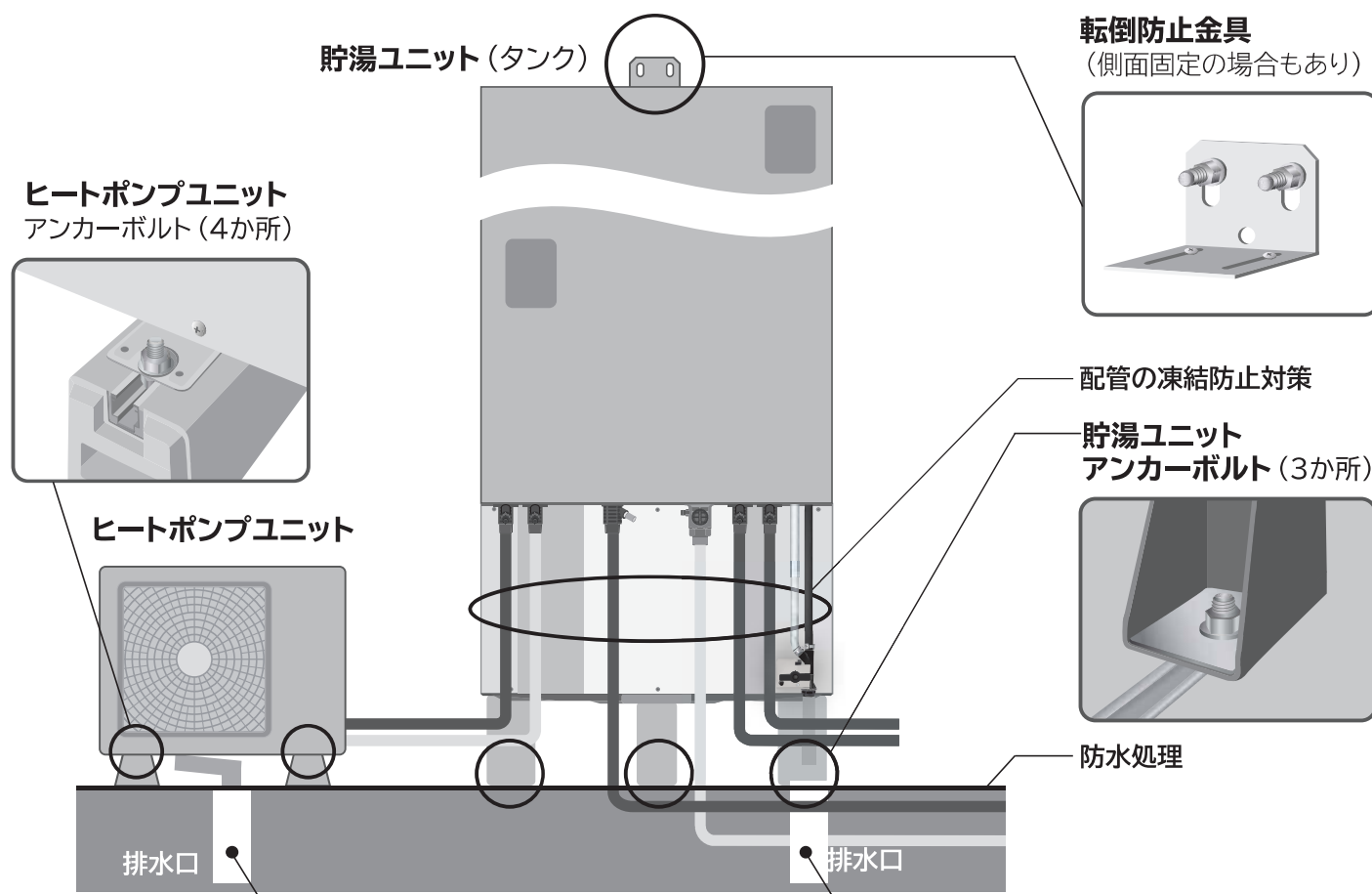
設置床面が防水処理・排水処理されていることを確認する

●水漏れが起きたときに、大きな損害につながる原因となります。

凍結防止対策がされていることを確認する → P.39

●正しく工事されていないと配管が破損して水漏れややけどの原因になることがあります。

ご不明の場合は、
お買い上げの販売
店または工事店に
ご確認ください。



安全上のご注意 (つづき)

給湯機の使用



警告

■給湯は



禁止

混合水栓のレバーやハンドル以外の部分に手を触れない



- やけどの原因となります。

お湯の使い始めは、しばらくお湯に触れない

- 空気の混じった熱いお湯が飛び散り、やけどの原因となります。
特に朝の使い始めは、ご注意ください。



確認

お湯の温度を指先などで確認してから使用する

- シャワー使用時に、指先などで湯温を確かめないとやけどの原因となります。



確認

お湯を出し始める時は、必ず水を出しながらお湯を出す

→ P.22

- お湯だけ出すと、熱いお湯でやけどしたり、洗面器などが破損する原因となります。

お湯の使用後は必ずお湯側から閉める

- 水側を先に閉めると、再使用時に熱いお湯が出て、やけどの原因となります。

→ P.22

給湯温度を変更するときは、ほかの場所で給湯していないことを確認してから行う

- やけどの原因となります。

停電中および復帰後にお湯を使うときは、湯温を確かめる

→ P.38

- 温度調整ができずに熱いお湯が出て、やけどの原因となります。

■入浴は



確認

浴そうのお湯の温度を指先などで確認してから入浴する



- 入浴時に指先などで湯温を確かめないと、やけどの原因となります。

給湯機の使用（つづき）

警告

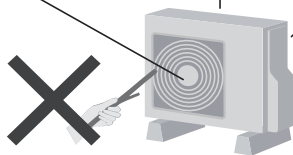
■ヒートポンプユニット、貯湯ユニット、配管などは



禁止

ヒートポンプユニットの空気吸込口（アルミフィン）や吹出口は、触ったり隙間に指や棒などを入れない

空気吹出口 空気吸込口（背面） アルミフィン（背面）

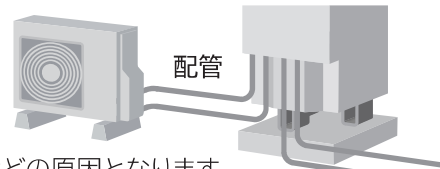


- 内部でファンが回転していることがあるため、けがの原因となります。
- アルミフィンにさわると、けがの原因になることがあります。



禁止

ヒートポンプユニットの配管に手を触れない



- やけどの原因となります。

排水するタンクのお湯には手を触れない

- やけどの原因となります。

逃がし弁点検時は排水するタンクのお湯には手を触れない

- やけどの原因となります。

■漏電遮断器は



確認

月に1度は動作確認をする

→ P.40



- 故障のまま使用すると、感電や火災の原因となります。

動作確認後は、操作カバーを閉じる

- 開けたままにして、雨やごみが入ると漏電や火災の原因になることがあります。

お手入れや点検時は、漏電遮断器を「OFF」にする

- 内部でファンが回転していることがあるため、けがの原因となります。

漏電遮断器は濡れた手で操作しない

- 感電の原因となります。

■逃し弁は



確認

年に2・3度は点検をする

→ P.41



- 異常のまま使用すると、タンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れの原因になることがあります。

点検後は、操作カバーを閉じる

- 開けたままにして、雨やごみが入ると漏電や火災の原因になることがあります。

■修理などは



禁止

分解・修理・改造・移設しない



- 不備があると火災、感電、水漏れの原因となります。お買い上げの販売店または工事店に依頼してください。

貯湯ユニットの前パネルやヒートポンプユニットの電源カバーを開けない

- 感電の原因となります。

■異常時は



確認

異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にし、販売店または工事店に連絡する



- 異常のまま使用すると、火災・感電・やけどの原因となります。

■その他



確認

非常用生活用水使用時は、湯温を確かめて熱に強い容器を使用する → P.37

- 熱いお湯（最高90℃）がでます。やけどにご注意ください。ガラス容器などは熱により割れることがあります。

安全上のご注意（つづき）

給湯機の使用（つづき）



■給湯は



混合水栓からのお湯は、そのまま飲用しない

禁止

- 長期間のご使用によって、タンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって、水質が変わることがあります。飲用される場合は、以下の点に注意し、必ず一度沸騰させてからにしてください。
 - ・必ず水質基準に適合した水を使う。
 - ・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっていた水）は雑用水として使用する。

お湯に固形物や変色、濁り、異臭がある場合には、飲用には使用せず、直ちにお買い上げの販売店または工事店に点検を依頼してください。

■ヒートポンプユニット、貯湯ユニット、配管は



ユニットに乗ったり、物を載せたり、配管に力を加えない

禁止

- 落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。



ヒートポンプユニットの据付台が、傷んだ状態のまま使用しない

禁止

- ヒートポンプユニットの落下や転倒につながり、けがの原因になることがあります。



1か月以上使用しないときは、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にして、貯湯ユニット、ヒートポンプユニット、配管のお湯（水）を抜く

確認

- 長期間使用しないと水質が変化し、飲用すると健康を害する原因になることがあります。

→ P.34



冬季、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にするときは、貯湯ユニット、ヒートポンプユニット、配管のお湯（水）を抜く

確認

- 満水のまま漏電遮断器を「OFF」にすると、配管が凍結し水漏れや故障の原因になることがあります。

→ P.34

■その他



高圧洗浄機などで水洗いしたり、花瓶などの水が入った容器を載せたりしない

禁止

- 漏電による火災や感電の原因になることがあります。



タンク内の熱いお湯を直接排水しない

禁止

- やけどや排水管の破損の原因になることがあります。

使用上のお願いとお知らせ

時間帯別電灯契約または季節別時間帯別電灯契約の契約内容を確認する

- 契約内容によって、電気料金が割安になる深夜時間帯が異なります。→P.42

ご不明の場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

湯はりをするときは、排水栓をしっかり閉める

→P.25

- 排水栓の閉め忘れは、お湯が無駄になります。



深夜時間帯でのお湯の多量使用は控える

- 深夜時間帯にお湯を多量に使うと、昼間時間帯でのお湯の沸き上げが増え、電気料金が割高になります。

落雷により機器が誤動作するときは漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする

- 直ちにお買い上げの販売店または工事店に点検を依頼してください。

リモコンの時刻表示が、現在時刻になっているかを月に1度は確認し、ずれているときは現在時刻にする →P.46

- 現在時刻になっていないと、電気料金が割高になる場合があります。



蛇口やシャワーのお湯は、こまめに止める



洗っているときは止めましょう

- 流しっぱなしは、タンクのお湯を多く使い、昼間時間帯でのお湯の沸き上げが増え、電気料金が割高になります。

お知らせ

停電中は、「給湯」機能が使用できません。→P.38

- タンクにお湯があっても、水しか出ません。

給湯中に給湯流量を変えたり、水道の圧力が変動すると、お湯の温度が変わることがあります。

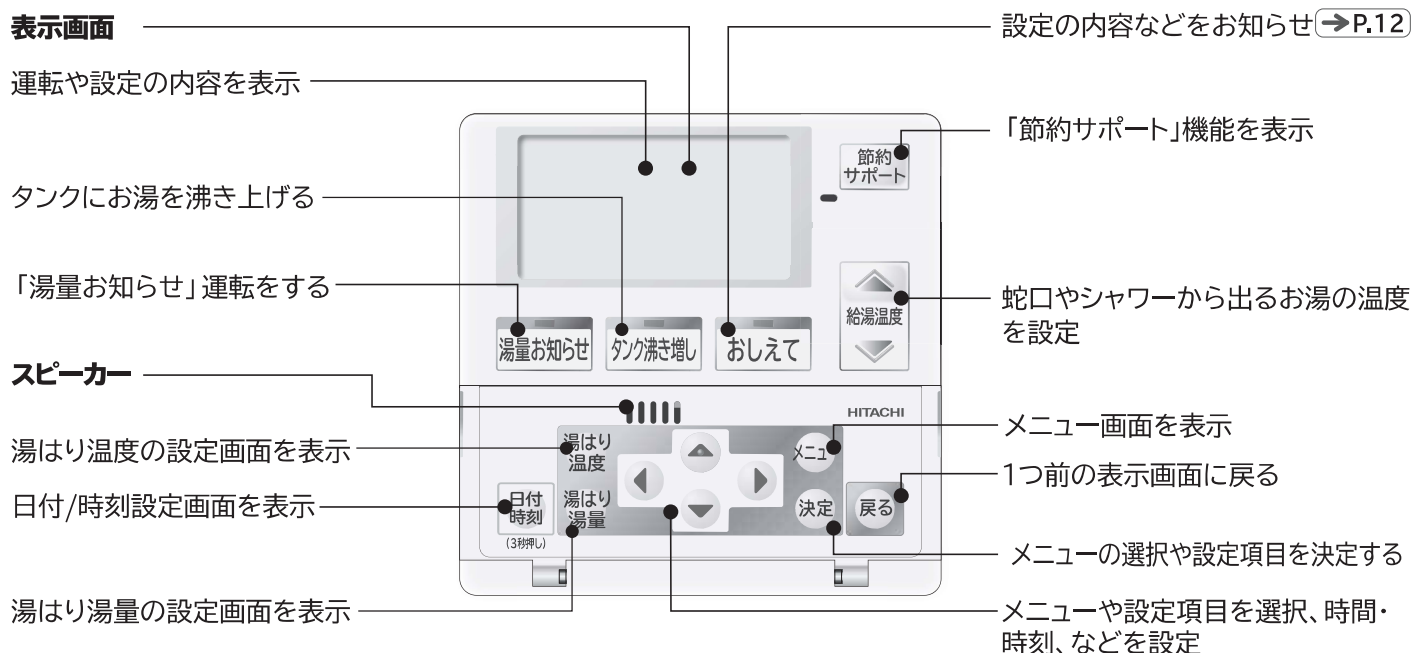
湯量お知らせ中は、給湯温度が「湯はり温度」に変わります。→P.25

- 他の人がお湯を使っていないか確認してから運転を行ってください。

湯量お知らせ中に、浴そう以外の混合水栓（蛇口）でお湯を使用すると、浴そうに湯はりできる湯量は、浴そう以外で使った分だけ少なくなります。→P.25

リモコンの操作ボタンと表示画面

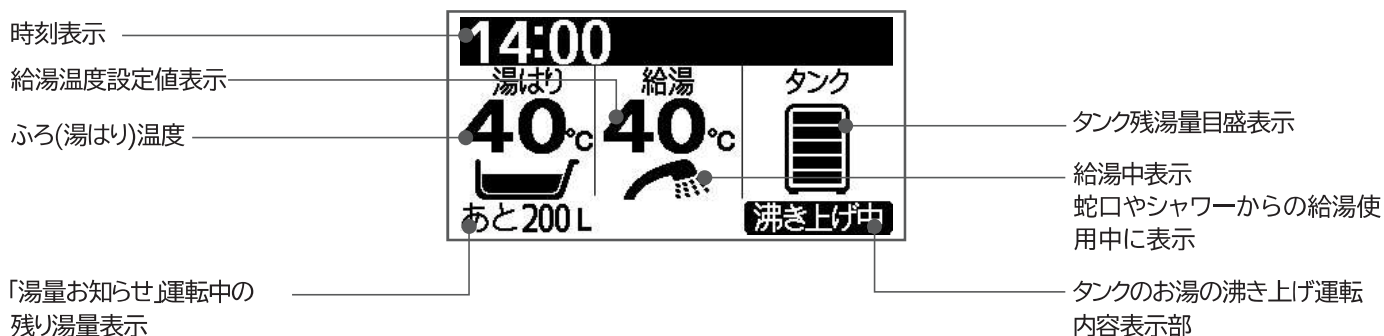
台所リモコンの操作ボタンのはたらき



表示画面 (台所リモコン)

■表示画面の内容 (例)

●この表示画面は工場出荷時設定を基にした標準画面例です。表示内容は、設定や運転内容により変わります。



沸き上げ中	→P.43
自動沸き上げ運転中	
沸き増し中	→P.32
タンク沸き増し運転中	
使用休止中	→P.33
使用休止予約	
沸き上げ運転予約中/休止中	

お知らせ

- 表示画面のバックライトは、約1分以上ボタン操作をしないと、節電のため自動的に消灯します。いずれかのボタンを押すと再点灯します。バックライトだけを点灯させたいときは「戻る」ボタンを押してください。
- バックライトの点灯時間は変更することが出来ます。(→P.47)
- 表示画面の濃さ(コントラスト)は変更することが出来ます。(→P.12)
- 時刻表示の「:」は、バックライト点灯時は1秒間隔で点滅しますが、バックライト消灯時は点灯に変わります。

■表示画面の内容（「おしえて」ボタン操作時）

- 「おしえて」ボタンを操作すると、現在の設定を表示、音声で読み上げます。（「ガイド・操作音設定」が「切」の場合は読み上げません。（→P.45））表示内容は、設定や運転内容により変わります。

湯はり湯量 200L	シャワーアラーム	おまかせ節約
湯はり中 あと200L		湯切防止少量 使用休止予約

表示画面の見やすさ調整(コントラストレベル設定)

- 表示画面の見やすさは、リモコン設置場所の明るさや温度などによって変わります。見にくい場合は、コントラストレベルの設定を変更してください。

準備

リモコンの扉を開ける

1

戻る

を3秒以上長押し、
コントラスト画面にする

14:00

湯はり 40℃

給湯 40℃

タンク

「コントラスト」設定画面になります

2

を押し、レベルを設定する

コントラスト レベル:08

湯はり 40℃

給湯 40℃

タンク

設定 (決定):決定

コントラスト レベル:08

湯はり 給湯 タンク

レベル1～レベル16まで、
16段階で設定ができます。

3

決定

を押す

設定が完了し、標準
画面に戻ります

14:00

湯はり 40℃

給湯 40℃

タンク

お知らせ

「コントラスト」設定画面で、
10秒間何も操作しない場
合は設定を反映して、自動
で標準画面に戻ります。

リモコンの操作ボタンと表示画面（つづき）

操作ボタンの種類と基本動作

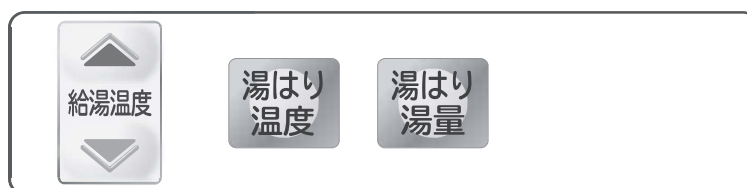
■機能を運転する運転ボタン

- このボタンは、1回押すと機能を運転し、運転中に押すと、運転を中止します。



■機能を設定するボタン

- このボタンは、1回押すと設定値が反転表示になり、設定値が変更できます。変更後約3秒間放置するか「決定」ボタンを押すと反転表示が戻り、設定が完了します。
※このボタンで設定した内容は記憶されます。



- このボタンは、約3秒以上長押しすると設定画面が表示され設定内容が変更できます。「決定」ボタンを押すと設定が完了します。
※このボタンで設定した内容は記憶されます。



- このボタンは、メニュー機能を設定するボタンです。「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を表示させ、設定したい機能を▲▼◀▶で選択し、設定します。「決定」ボタンを押すと設定が完了します。
※このボタンで設定した内容は記憶されます。（記憶されない内容もあります）



■運転や設定内容をお知らせするボタン

- このボタンはボタンを押すと設定内容や運転内容、操作方法などを音声でお知らせします。

「おしえて」ボタンのランプが消灯しているときに押すと



- 給湯機が運転していないときは、画面に各機能の設定内容をお知らせします。→ P.12

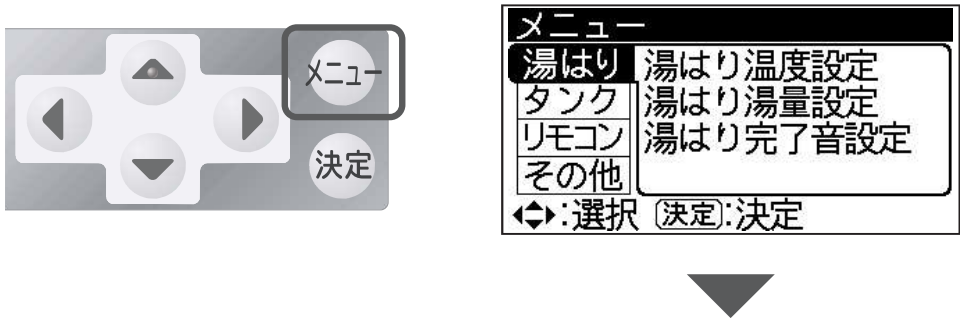
「おしえて」ボタンのランプが点灯しているときに押すと



- 操作方法などをお知らせします。

■給湯機の設定メニューを表示するボタン

- 「メニュー」ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。メニュー画面には、下表のメニュー項目があります。
- メニューの表示は台所リモコン(サブリモコン)、ふろリモコンのどちらでもできます。



メニュー項目		機能内容	参照ページ
湯はり	湯はり温度設定	湯量お知らせ運転時の湯はり温度を設定します。	→ P.24
	湯はり湯量設定	湯量お知らせ運転時の湯はり湯量を設定します。	→ P.24
	湯はり完了音設定	湯量お知らせ運転時終了時の完了音を設定します。	→ P.47
タンク	沸き上げ設定	沸き上げるお湯の量を設定します。	→ P.43
	湯切れ防止/節約設定	湯切れ防止：昼間時間帯にタンクのお湯が減ると、自動的に沸き上げるお湯の量を設定します。 節約設定：湯切れ防止を運転させない時間帯を設定します。	→ P.44
	使用休止予約設定	給湯機の使用を休止する期間を予約します。	→ P.33
リモコン	音声案内設定	音声ガイドの内容の選択、音声ガイド、操作音量を設定します。	→ P.45
	バックライト設定	バックライトの点灯時間を設定します。	→ P.47
その他	電力契約設定	電力契約の契約番号を設定します。	→ P.42
	一括設定	給湯機を使用するにあたって必要な項目を一括設定します。	→ P.20
	出荷時設定	各設定を工場出荷時の初期状態に戻します。	→ P.48
	HPエア抜き	ヒートポンプユニットのエア抜き運転をします。	→ P.36

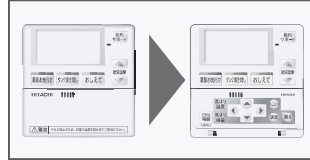
リモコンの操作ボタンと表示画面（つづき）

■給湯機の設定メニューを設定するボタン（設定の操作手順）

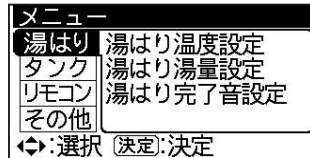
●設定操作手順を、「リモコン」の「バックライト設定」を例に説明します。

準備

1 台所リモコンの扉を開ける



2  を押し、「メニュー」画面を表示させる



1

 を押し、「リモコン」の「バックライト設定」を選択し



 を押す バックライト設定画面になります

2

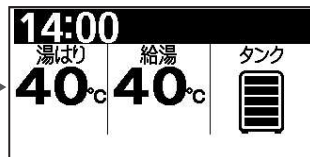
 を押し、バックライトの「点灯時間」を選択し



 を押す

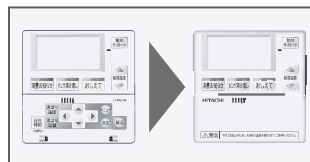


設定完了



3

リモコンの扉を閉める



お知らせ

これ以降の操作手順説明では「リモコンの扉を閉める」の手順は省略します。

ご注意

扉を開閉するときは、リモコン本体と扉の隙間に指を挟まないようにご注意ください。
特に子どもには十分ご注意ください。

お知らせ

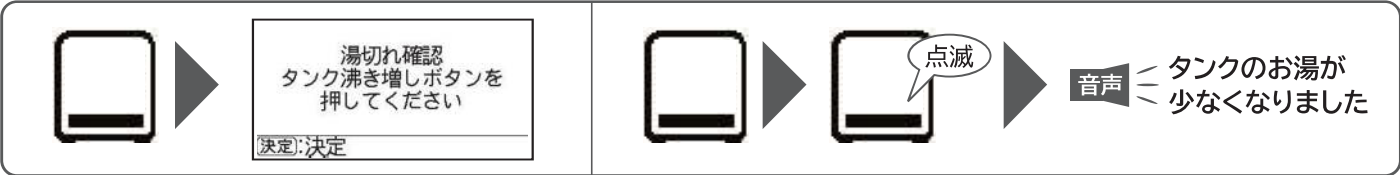
操作手順 2 の「決定」ボタンを押す前までは、

 を押すと、1つ前の画面に戻ります

 を押すと、標準画面に戻ります

タンク残湯量目盛表示の見かた

- 残湯量目盛は、タンク内にある45℃以上のお湯の量の目安です。給湯や湯はりなどをするときは、残湯量目盛を確認してください。目盛が足りないときは「タンク沸き増し」ボタンを押して、目盛を増やしてからご使用ください。→P.32
- 実際に蛇口やシャワー、湯はりなどに使えるお湯の量は、タンクのお湯と水道水を混合するため、タンク内のお湯の量と異なります。
タンク内のお湯を、リモコンに設定されている給湯温度のお湯として何L使えるかが確認できますので、参考にしてください。→P.28
- タンクのお湯が少なくなると、表示や音声でお知らせします。



目盛表示と使えるお湯の量の目安

○：使用できます ×：使用できません

目盛表示	タンク容量とタンク内のお湯の量の目安		使用できる・できないの目安	
	460L	370L	蛇口・シャワーからの給湯	湯はり・追いだき
	385L以上	295L以上	○	○
	225L以上	225L以上	○	○
	150L以上	150L以上	○	○
	75L以上	75L以上	○	×
	75L未満	75L未満	○	×
	20L未満	20L未満	×	×
	0L	0L	×	×

お知らせ

- 目盛は、蛇口やシャワー、湯はりなどでお湯を使わなくても、自然放熱などで少なくなる場合があります。
- 目盛が全て表示されている場合でも、「湯切れ防止」を設定していると「沸き上げ」する場合があります。
- 目盛は約45℃以上のお湯の量を表示しています。
目盛が出ていても給湯温度の設定が高い(たとえば48℃)場合は、その設定より低い温度(たとえば46℃)のお湯が出ます。
- 7時～23時で目盛が1目盛点灯から点滅に変わるとき、「タンクのお湯が少なくなりました」の音声でお知らせします。その後の使用量に応じて「タンク沸き増し」を行ってください。→P.32
- 深夜時間帯の沸き上げ運転中にお湯を使用した場合、満タンまで沸き上げができない場合がありますが、異常ではありません。

システム型式とタンク容量

システム型式	タンク容量
BHP-ZA46PU BHP-Z46PU	460L
BHP-ZA37PU BHP-Z37PU	370L

エコキュートのお上手な使いかたポイント

■上手にお湯を沸き上げる

エコキュートは、日々のお湯の使用量を自動的に学習し、その学習結果をもとに、深夜時間帯にお湯を沸き上げ、タンクにためますが、「沸き上げ設定」で、多めに沸き上げるか、少なめに沸き上げるかを選ぶことができます。

より省エネで経済的に
ご使用いただくための
ポイントを紹介します。



まずは、少なめに沸き上げる「おまかせ節約」に設定して使用します。 → P.43

- 「おまかせ節約」は、昨日までの7日間の平均使用量を沸き上げる設定です。
- 工場出荷時は「おまかせ節約」が設定されています。 **おしえて** を押し、リモコンの表示を確認してください。

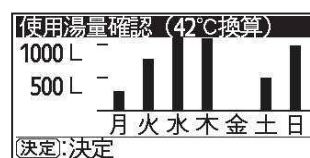
湯はり湯量	シャワーアラーム	おまかせ節約
200L		湯切れ防止重

ときどき使用湯量目安、残湯量目安、使用実績を確認します。 → P.28

- いつもに比べてお湯を使い過ぎていないか、いつものペースでお湯を使うとタンクのお湯が不足しないかを調べます。
- 「使用湯量目安」は、本日これまで使ったお湯の量と、昨日と昨日までの6日間の平均使用湯量の目安で、同時刻と1日分を表示します。
使用湯量は、リモコンの給湯温度設定値で換算しています。
- 「残湯量目安」は、本日これから使えるお湯の量の目安です。現在の残湯量と昨日の同時刻以降に使ったお湯の量を表示します。
残湯量は、リモコンの給湯温度設定値で換算しています。
- 「使用実績」は、昨日までの7日間の日々のお湯の使用量を表示します。
給湯温度設定値を42℃として換算しています。

使用湯量目安(設定40℃換算)		
	15:23	1日分
本日	290L	-
昨日	480L	800L
週平均	500L	850L
(決定): 決定		

残湯量目安(設定40℃換算)	
残湯量	昨日の同時刻以降の使用量
520L	[320L]
(決定): 決定	



▶ タンクのお湯が足りそうなときは、「おまかせ節約」のまま使用します

- お湯がたくさん余りそうなときは、「湯切れ防止設定」を「切」にします。 → P.44

▶ タンクのお湯が、足りなくなりそうなときは、「タンク沸き増し」ボタンを押してお湯を沸き上げます。 → P.32

1時間で沸き上げるお湯(約40℃)の量の目安

約120L(冬季)～約240L(夏季)

▶ タンクのお湯が、頻繁に足りなくなるときは、「おすすめ設定」を確認して、設定を変更します。 → P.31

- 「おすすめ設定」は、「沸き上げ」と「湯切れ防止」のおすすめ設定をお知らせします。現在の設定(黒地に白文字)におすすめマークが付いていないときは、おすすめマークの付いた設定に変更します。
- お湯の使いかたが変わったときは、再度「おすすめ設定」を確認します。

おすすめ設定	
沸き上げ設定	
おすすめ	
(おまかせ節約)	(おまかせ多め)
◀: 選択	(決定): 決定

■上手に機能を使い、上手にお湯を使う

エコキュートにはいろいろな機能があります。上手に使い、上手に節約しましょう。

「沸き上げ設定」を「おまかせ節約」に設定すると、無駄がないよう少なめに沸き上げます。 → P.43

お湯の量が十分で沸き上げが必要ない場合は、「湯切れ防止設定」を「切」にしましょう。

●無駄な沸き上げを行わず節約につながります。

→ P.44

最後にお湯を使う時間が決まっている場合、「湯切れ防止」の「節約設定」を有効にすることをおすすめします。

●設定した時刻以降の「湯切れ防止」による沸き上げを休止し、深夜時間帯に沸き上げることで電気料金が節約できます。

→ P.44

旅行などで不在となるときは、「使用休止予約」で沸き上げの休止を設定しましょう。

●蛇口やシャワーなどでお湯を1日使わなくても、タンクのお湯の温度が自然放熱などの影響で下がるため、自動的に沸き上げを行いますが、「使用休止」中は沸き上げを行わず、節約につながります。

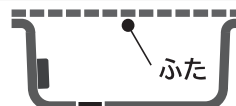
→ P.33

蛇口やシャワーは出しっぱなしにせず、こまめに止めましょう。

入浴時刻に合わせて湯はりをしましょう。できるだけ続けて入浴して、浴そうからの熱漏れを少なくしましょう。

入浴していないときは、浴そうのふたはきちんと閉めましょう。

●わずかな隙間からでも熱が漏れ無駄につながります。

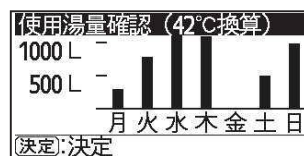


→ P.26

「使用湯量目安」や「残湯量目安」、「使用実績」を確認し、節約の目安にしましょう。

使用湯量目安(設定40℃換算)			
	15:23	1日分	
本日	290L	-	
昨日	480L	800L	
週平均	500L	850L	
(決定):決定			

残湯量目安(設定40℃換算)	
残湯量	昨日の同時刻以降の使用量
520L	[320L]
(決定):決定	



→ P.28

普段と異なるお湯の使い方をする(お湯を多く使用する)場合

<例> (1) 2人で使用していたが、盆、正月に子どもが帰省してお湯の使用量が増える

(2) 前日より急にお湯の使用量が増える

●タンク残湯目盛を確認し、お湯が不足する可能性がある場合、「タンク沸き増し」をします。

→ P.16

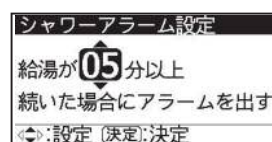
→ P.32

●沸き上げ設定を「おまかせせめ」に変更する、または「湯切れ防止」設定を「全量」へ変更します。

→ P.43

→ P.44

シャワーアラームを設定してシャワーの使用時間と使用量を確認し、お湯を使い過ぎないようにしましょう。



→ P.29

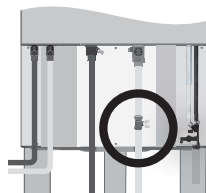
はじめてご使用のときの確認と設定

給湯機とリモコンの確認

1

給湯機が使える状態になっているかを確認する

- 1 貯湯ユニットのタンク専用止水栓が「開」になっているか？ → P.4
- 2 貯湯ユニットのタンクが満水になっているか？ → P.41
- 3 200V電源ブレーカーのスイッチが「ON」になっているか？ → P.4
- 4 貯湯ユニットの漏電遮断器のスイッチが「ON」になっているか？ → P.3



タンク専用止水栓は、工事により取付位置が違いため、ご不明の場合は、お買い上げの販売店、または工事店にお問い合わせください。

逃がし弁のレバーを上げて、タンク排水管から水が連続で出たら満水です。

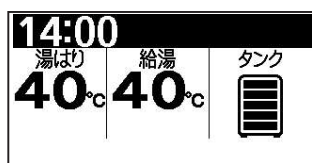
2

リモコンが使える状態になっているかを確認する

- 1 表示画面に表示が出ているか？
- 2 表示画面にバックライトが点灯するか？



を押すと点灯します



- 3 表示画面が見にくくないか？

見にくい場合は、コントラストレベルを調整します。 → P.12

表示が出ていない、バックライトが点灯しない場合は、お買い上げの販売店または、工事店にお問い合わせください。

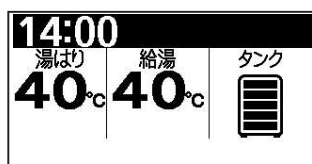
バックライトは、約1分間ボタンを押さないと、自動的に消灯します。

3

リモコンの表示内容を確認する

- 1 時刻表示が現在時刻になっているか？

現在時刻になっていないときは、現在時刻にします。 → P.46



- 2 残湯量目盛が表示されているか？

表示が下のような状態の場合はお湯が使いません。 → P.16



台所リモコンの「タンク沸き増し」ボタンを押して沸き上げを行い、目盛を増やします。 → P.32



時刻表示が現在時刻とずれていると、電気料金が割高になる場合があります。

「音声ガイド」機能

リモコンには「音声ガイド」機能があり、設定内容などを音声でお知らせします。ガイド内容には「しんせつ」「標準」「切」のモードがあります。本取扱説明書は、工場出荷時設定の「しんせつ」モードで説明しています。

給湯機・リモコンに必要な項目の一括設定

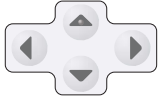
- 給湯機を使用するためには、右記の項目の設定が必要です。
- ここでは右記項目を連続で設定できる「一括設定」の操作手順を説明します。
各項目の設定内容の詳細は、各項目詳細説明ページをご覧ください。
- 給湯温度や湯はり温度、湯はり湯量の設定は、給湯機をご使用になりながら設定してください。

湯はり完了音設定	節約設定
電力契約設定	音声ガイド設定
沸き上げ設定	ガイド・操作音量設定
湯切れ防止設定	日付設定
	時刻設定

準備

リモコンの扉を開け、 ボタンを押す

1

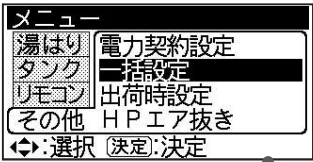


を押し、「その他」の「一括設定」を選択し

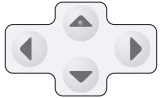


を押す

湯はり完了音設定画面になります



2



を押し、「湯はり完了音」を選択し



を押す

電力契約設定画面になります



[おしえて] ボタンを押すと選択している完了音を再生します。

3



を押し、電力の「契約番号」を設定し → P.42



を押す

沸き上げ設定画面になります



電力会社との契約内容に合った「契約番号（日立固有の番号）」を設定します。違った番号を設定すると、電気料金が割高になる場合があります。

4



を押し、深夜時間帯の「沸き上げ量」を設定し → P.43



を押す

湯切れ防止設定画面になります



タンクに沸き上げるお湯の設定です。
使いはじめは、深夜時間帯の「沸き上げ量」は「おまかせ節約」に設定

5

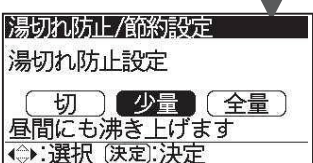


を押し、昼間時間帯の「湯切れ防止」の「沸き上げ量」を選択し → P.44



を押す

節約設定画面になります
「切」を選択した場合は、音声ガイドの設定画面になります



昼間時間帯の「沸き上げ量」は「少量」に設定
しばらく使い、タンクのお湯の過不足に応じて、設定を見直します。

次ページ

6

へ続く

はじめてご使用のときの確認と設定(つづき)

6

◀▶ を押し、「節約設定」を選択し → P.44

決定 を押す

- 「しない」「おまかせ」を選択した場合は、音声ガイドの選択画面になります。
- 「手動設定」を選択した場合は、時刻設定入力画面になります。

お湯を最後に使用する時間が決まっている場合は、節約のため「手動設定」または「おまかせ」を設定します。決まっている場合は「しない」を設定してください。

7

▲▼ を押し、「時刻」を設定し → P.44

決定 を押す

音声ガイドの設定画面になります。

設定した時刻から湯切れ防止運転を休止します。お湯を最後に使用する時刻を設定します。

8

◀▶ を押し、「音声ガイド」のモードを選択し → P.45

決定 を押す

ガイド・ブザー音量の設定画面になります

「音声ガイド」のモードを設定します。はじめてお使いのときは、給湯機の動作状態やリモコンの操作方法などをお知らせする「しんせつ」モードが便利です。

9

▲▼ を押し、ガイド・操作音設定の「音量」を設定し → P.45

決定 を押す

日付設定の設定画面になります

(切) (小) (標準) (大)

設定に対応した音量でお知らせします。

10

◀▶ を押し、「年」「月」「日」を選択しながら → P.46

▲▼ を押し、現在年月日を設定し

決定 を押す

時刻設定画面になります

11

◀▶ を押し、「時」「分」を選択しながら → P.46

▲▼ を押し、現在時刻を設定し

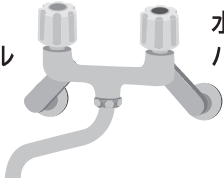
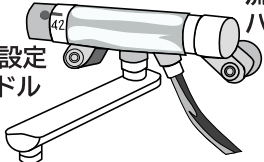
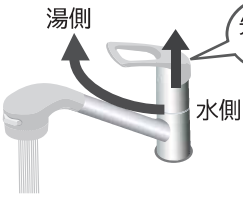
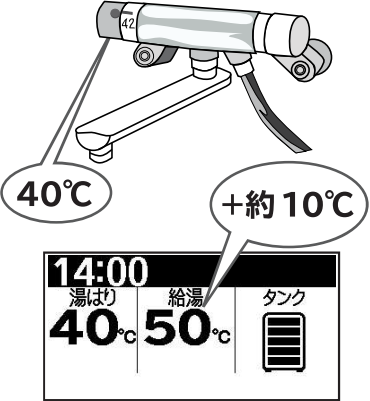
決定 を押す

自動で標準画面に戻ります

設定完了

混合水栓（蛇口）の種類と正しい使いかた

●ご家庭の各給湯場所の混合水栓(蛇口)には下表のような種類があります。それぞれの特徴をよく理解して、正しく、安全にご使用ください。

種類	シングルレバー	ツーハンドル	サーモスタット付
外観	レバー 	湯側ハンドル 水側ハンドル 	温度設定ハンドル 流量ハンドル 
操作のしかた	レバーを上下させて流量調節を、レバーを左右に操作して温度を調節する。	湯側、水側それぞれのハンドルを回して、温度、流量の調節する。	温度設定ハンドルを回し、温度を設定、流量ハンドルを回して流量を調節する。
使用場所	シャワーのない台所流しや洗面台の混合水栓に向いている。		浴室のシャワー付混合水栓は、この水栓がおすすめです。
正しい使いかた	■給湯するとき 先に水を出してから、ゆっくりとお湯を出し、適温にする。  湯側 水側 先に水を出す 先にお湯を出すと、ほかの場所で設定温度を変更している場合もあり、高温のお湯が出たり、飛び散ることがあります。 ■給湯を止めるとき 先にお湯を止めてから、水側にする。  先に水を出す 先に水を出す 先に水を出す		混合水栓設定の温度のお湯を出す場合は、リモコンの設定温度を約10℃高くする。  40℃ +約10℃ 14:00 湯はり 40℃ 給湯 50℃ タンク ※サーモスタット付混合水栓は、給湯機からのお湯に水を混ぜて設定温度のお湯にする構造です。そのため混合水栓と給湯機の設定温度が同じ場合は混合水栓からのお湯の温度は低くなります。

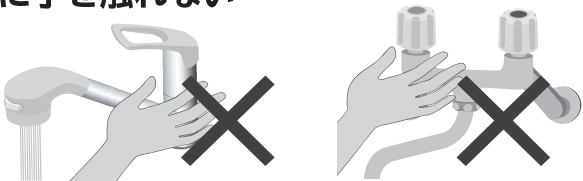


警告



給湯時は、レバーやハンドル以外の部分に手をつけない

禁止



高温のお湯の使用時や使用直後は、熱くなっており、やけどするおそれがあります。

■適度な流量で使う

- 流量が少ないと、温度が不安定になったり、水が出たりします。
- 流量が多かったり、2ヶ所で同時に使うと、温度が低くなることがあります。その場合は、混合水栓を少し閉めてください。

■給湯中の次のような操作は、操作後に設定温度のお湯になるまでにしばらく時間がかかることがあります。

設定温度の変更 / 流量の変更 / 給湯を止めたあとの再給湯

「給湯」を使う

台所や洗面所などの蛇口からお湯を使う

1 給湯温度を確認する

(この表示は40℃が設定されています)

●給湯温度を変えるときは



を押す

給湯温度の設定範囲

低温（水温）、35℃～48℃（1℃刻み）、50℃、55℃、60℃、高温



2 混合水栓（蛇口）を開く

先に水を出し、ゆっくりとお湯を出す
指先などで温度を確かめてから使う

→ P.22



注意

給湯温度を「高温」に設定するときは、やけど防止のため
特に下記の点にご注意ください

- 混合水栓（蛇口）は、必ずサーモスタット付混合水栓（現地準備品）を使用してください。
- シャワー使用時や入浴時は、高温の湯が出るおそれがあるため、必ず湯温を指先などで確かめてください。
- 小さいお子様や高齢者の方が使用されるご家庭では、危険ですので「高温」設定にはしないでください。
- 「高温」設定でお湯を使用したあとは、リモコンで給湯温度を下げたあとも配管内に残った高温のお湯が出るおそれがありますので、やけどにご注意ください。
（例えば「高温」設定で浴そうにさし湯をしたあとにシャワーを使用する場合など、給湯温度を下げてても配管内に残った高温のお湯が出るおそれがあります。）

お知らせ

- お湯の使い始めは配管内に残った水が出るため、混合水栓（蛇口）を開いてからお湯が出るまでに時間がかかる場合があります。
- 給湯温度を変更するとき、35℃～48℃の範囲では「▲」「▼」ボタンを押し続けると設定温度が連続して変わります。50℃、55℃、60℃、高温、および低温に変更する場合は「▲」「▼」ボタンをくりかえして押してください。
- 「高温」に設定（60℃以上の高温水を使用）する場合は製品の設定変更が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。
- シャワーアラームを設定しておくとしシャワーの使用時間とお湯の使用量が確認できます。

→ P.29

お知らせ

給湯中は表示画面に給湯中のマークが表示します。



給湯温度の設定が 50℃・55℃・60℃の場合

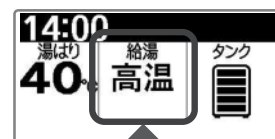
やけどに注意していただくために
下のような音声と表示でお知らせします。

給湯温度を設定
しました
熱いお湯が出ます
ご注意ください



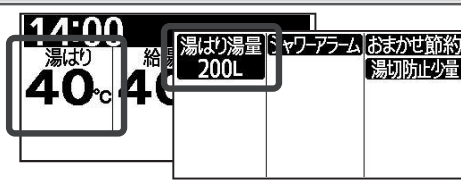
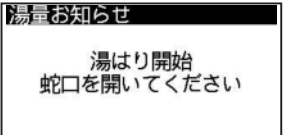
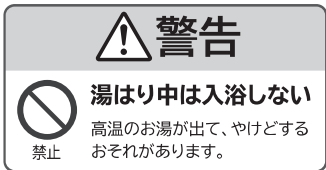
給湯温度を高温に設定した 場合

工場出荷時の設定では「高温」は
ご利用いただけません。
「高温」ではタンク内湯温に近い
（60℃以上）の高温水が給湯さ
れるため、ご使用には特に注意が
必要です。



「ふろ」を使う

準備から湯はりまでの操作・運転流れ

操作・運転の流れ		参照ページ
準備	次の項目の確認・設定をします ●湯はり温度（標準画面） ●湯はり湯量（おしえて画面） 	→ P.24
	浴そうの「排水栓」とをします。 	
「湯量お知らせ」運転	湯量お知らせ を押す ●リモコン表示部に「湯はり開始」が表示されます。混合水栓（蛇口）を開くと給湯を開始します。 ●リモコン表示部が通常画面に戻り、浴そうへの湯はり運転中のアニメーションと残りの湯はり湯量、また給湯中のアニメーションを表示します。 ●「湯量お知らせ」中は、残りの湯はり湯量をカウントダウンします。 ●残りの湯はり湯量0になると、湯はり完了をリモコンの表示と音声でお知らせします。 ●混合水栓（蛇口）を閉めます。（オートストップ機能付きは、給湯を自動で停止します。） 「湯はり」終了すると、入浴ができます   「湯量お知らせ」運転中の表示 	→ P.25 → P.26

■「湯はり温度」「湯はり湯量」の確認・設定のしかた

●浴そうに湯はりするお湯の温度と湯量の設定です。

湯はり温度を確認する

（工場出荷時は40℃が設定されています）



●湯はり温度を変えるときは
台所リモコンのふたを開け



湯はり温度の設定範囲 ⇒ 低温（水温）、35℃～48℃（1℃刻み）



湯はり湯量を確認する

標準画面で おしえて を押す。
（工場出荷時は湯量200Lが設定されています）



●湯はり湯量を変えるときは
台所リモコンのふたを開け



湯はり湯量の設定範囲 ⇒ 40L～540L 10L刻み）



「ふろ」を使う（つづき）

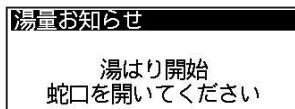
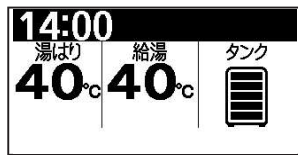
「湯量お知らせ」運転の操作と運転内容

●「湯量お知らせ」運転による、「湯はり」運転の操作と表示の内容です。

浴そうの準備をします

湯量お知らせ を押します

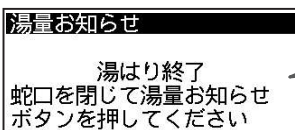
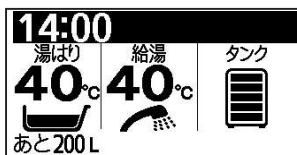
- ボタンのランプが点灯、音声と表示でお知らせます。



音声 ≪ 給湯温度を・・・蛇口を開いてください

混合水栓（蛇口）を開きます

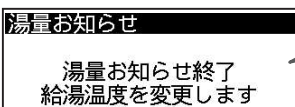
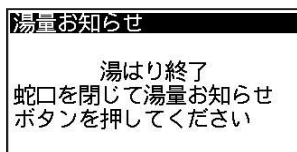
- 混合水栓（蛇口）を開くと給湯を開始します。
- リモコン表示部が標準画面に戻り、残りの湯はり湯量を表示します。
- 残りの湯はり湯量が0Lになると、文字と音声でお知らせします。



音声 ≪ 湯はりを終了しました。蛇口を閉じて湯量お知らせボタンを押してください。

混合水栓（蛇口）を閉じる

- 混合水栓（蛇口）を閉めると、リモコン表示部が「湯量お知らせ終了」を表示します。



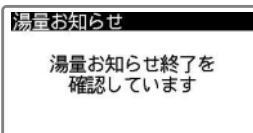
音声 ≪ 給湯温度を・・・に変更します。

- **湯量お知らせ** を押すと標準画面に戻ります。

入浴ができます

ご注意 BHP-ZA46PU, BHP-ZA37PU をご使用の場合

- BHP-ZA46PU, BHP-ZA37PU（オートストップ機能付き）では、湯量お知らせ運転を終了させるために「湯量お知らせ」ボタンを押すと、しばらくの間、右の画面を表示して、すべての混合水栓（蛇口）が閉まっているかを確認中であることをお知らせします。標準画面に戻るまですべての混合水栓（蛇口）は閉じておいてください。



ご注意 湯はり温度について

サーモスタット式混合水栓（蛇口）をご使用の場合は、混合水栓（蛇口）の設定温度を湯はり温度より高めに設定してください。湯はり温度より低いと水が混ざるため給湯量が湯はり湯量より多くなります。

ご注意 湯量お知らせ終了について

- BHP-ZA46PU, BHP-ZA37PU（オートストップ機能付き）は、湯はり流量を給湯するとすべての混合水栓（蛇口）での給湯を停止します。すべての混合水栓（蛇口）を閉じて「湯量お知らせ」ボタンを押すと給湯温度で給湯できるようになります。混合水栓（蛇口）の構造によっては、自動停止のあと混合水栓（蛇口）を閉めるまでの間に少量の水が出る場合があります。
- BHP-Z46PU, BHP-Z37PU（オートストップ機能なし）では、給湯は自動で停止しません。混合水栓（蛇口）を閉めて「湯量お知らせ」ボタンを押してください。

お知らせ

- 「湯量お知らせ」ボタンを押さずに混合水栓を開けても湯はりはできますが、湯はり終了のお知らせはありません。また、この場合は給湯設定温度で湯はりするため、給湯温度を「高温」に設定している場合はご注意ください。
- BHP-ZA46PU, BHP-ZA37PU では、湯量お知らせ運転中、他の機器で湯が使用できないことがあります。



警告

やけどにご注意ください

お知らせ 湯量お知らせ中の給湯温度について

- 湯量お知らせ運転を開始すると、すべての混合水栓（蛇口）の温度が「湯量お知らせ」で設定した湯はり温度に変わります。湯はり温度を高め設定している場合は、他の人がお湯を使用中でないか確かめて運転を開始してください。

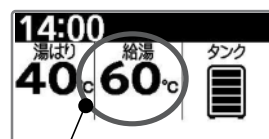


給湯温度が変わります

- 湯量お知らせ運転中、給湯温度の変更はできません。

ご注意 湯量お知らせ終了後の給湯温度について

- 湯量お知らせ運転を終了すると、すべての混合水栓（蛇口）の温度が給湯温度に変わります。給湯温度を高く（例えば 60℃）設定している場合は、他の人がお湯を使用中でないか確かめて湯量お知らせ運転を終了してください。



給湯温度が変わります

■途中でとめたいとき

混合水栓（蛇口）を閉じ、を押します。

- ボタンのランプが消灯し、湯量お知らせ運転が停止します。

湯量お知らせ

湯量お知らせ中止
給湯温度を変更します

音声 < 湯量お知らせを中止
します。給湯温度を
・・・に変更します。

■タンクの残湯量が少ないとき

- BHP-Z46PU, BHP-Z37PU（オートストップ機能なし）では、タンク残り湯が少なくなると文字と音声でお知らせします。

混合水栓（蛇口）を閉じ、を押します。

- ランプが消灯し湯量お知らせ運転が停止します。

湯量お知らせ

湯はり中止
タンクの湯がなくなりました
蛇口を閉じて湯量お知らせ
ボタンを押してください

音声 < タンクのお湯が・・・
蛇口を閉じて湯量お
知らせボタンを・・・

お知らせ

- BHP-ZA46PU、BHP-ZA37PU（オートストップ機能付き）ではタンクのお湯をすべて使いきるまで運転を続けます。「湯量お知らせ」の途中でタンクのお湯がなくなると自動で給湯を停止して「湯量お知らせ中止」をお知らせします。

- 混合水栓（蛇口）を閉じ、を押すまでの間、以下の音声を出します。

音声 < 蛇口を閉じて湯量お
知らせボタンを押してく
ださい。

オートストップ機能付き：1 分ごと
オートストップ機能なし：20 秒ごと

■入浴のしかた

- 入浴は、次のようにすると、タンクのお湯が節約できます。

湯はり後はすぐ入浴しましょう。

間隔をあまり空けずに入浴しましょう。

入浴していないときはふたを閉めましょう。

- 入浴するときは、次のことに注意して入浴してください。



警告



確認

浴そうのお湯の温度を指先などで確認してから入浴する

※入浴時に指先などで湯温を確かめないと、やけどの原因となります。



「節約サポート」機能の使いかた

●「節約サポート」機能には、省エネなど節約につながる次の4つの機能があります。

機 能 項 目	機 能 内 容	詳細頁
使用湯量目安 /残湯量目安	使ったお湯の量と、タンクに残っているお湯の量をお知らせします。	→P.28
おすすめ設定	お湯の使用状況を学習し、「沸き上げ」のおすすめ設定モードをお知らせします。また、「湯切れ防止」の設定の確認ができます。	→P.31
シャワーアラーム	シャワーを使った時間と、シャワーに使ったお湯の量を表示し、設定した時間を超えたときにアラームでお知らせします。	→P.29
上手な使いかた	節約につながる上手な使いかたを表示します。	→P.31

1

を押す

節約サポートメニュー
使用湯量目安/残湯量目安
おすすめ設定
シャワーアラーム
上手な使いかた
◀▶:選択 (決定):決定

2

を押し、機能を選択し、

を押す

節約サポートメニュー
使用湯量目安/残湯量目安
おすすめ設定
シャワーアラーム
上手な使いかた
◀▶:選択 (決定):決定

設定操作手順は、各機能の
説明ページで説明します

使用湯量目安／残湯量目安

- いつもに比べてお湯を使い過ぎていないか、いつものペースでお湯を使うとタンクのお湯が不足しないかなどを確認できます。タンクのお湯が“足りる・足りない”などの目安として、またお湯の節約にお役立てください。

使用湯量目安

使用湯量目安(設定40℃換算)		
	15:23	1日分
本日	290L	-
昨日	480L	800L
週平均	500L	850L
(決定):決定		

0時00分～
15時23分に
使ったお湯の量

0時00分～
23時59分に
使ったお湯の量

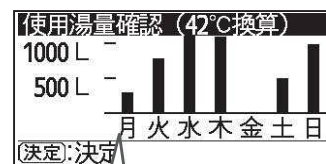
残湯量目安

残湯量目安(設定40℃換算)	
残湯量	昨日の同時刻 以降の使用量
520L	[320L]
(決定):決定	

15時23分以降に
使えるお湯の量

昨日15時23分以降
に使ったお湯の量

使用湯量確認



昨日までの7日間
の日々に使ったお
湯の量

数値は、リモコンの給湯温度設定値で換算した目安表示です。
10L単位で表示しています。

42℃のお湯として換算した
目安表示です。

準備

節約
サポート

を押す

節約サポートメニュー	
使用湯量目安/残湯量目安	
おすすめ設定	
シャワーアラーム	
上手な使いかた	
選択 (決定):決定	

1



を押し、「使用湯量目安／残湯量
目安」を選択し

決定

を押す

使用湯量目安画面になります

節約サポートメニュー	
使用湯量目安/残湯量目安	
おすすめ設定	
シャワーアラーム	
上手な使いかた	
選択 (決定):決定	

お知らせ

表示値は、タンクのお湯と水の
温度から、給湯温度設定値、ま
たは42℃のお湯に換算している
ためタンクのお湯の温度を一定
としたとき、水温が高い夏のほ
うが、使えるお湯の量は多くな
ります。

2

今日これまでに給湯で使ったお湯の量を表示します。

使用湯量目安確認後

決定

を押す

残湯量目安画面になります

使用湯量目安(設定40℃換算)		
	15:23	1日分
本日	290L	-
昨日	480L	800L
週平均	500L	850L
(決定):決定		

「使用湯量目安」の数値には、混
合水栓の水側の水量は含んでい
ません。

3

今タンクにあるお湯が、設定給湯温度のお湯として
何L給湯できるかを表示します。

残湯量目安確認後

決定

を押す

使用湯量確認画面になります

残湯量目安(設定40℃換算)	
残湯量	昨日の同時刻 以降の使用量
520L	[320L]
(決定):決定	

「残湯量」を増やしたい場合は、
「タンク沸き増し」ボタンを押し
て、タンクにお湯を沸き上げてく
ださい。→P.32

4

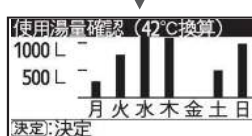
昨日までの7日間の日々のお湯の使用量を表示します。

使用湯量確認後

決定

を押す

標準画面に戻ります



使用湯量確認 (42℃換算)		
	14:00	
湯(お)	給湯	タンク
40℃	40℃	

「節約サポート」機能の使いかた(つづき)

シャワーアラーム

●浴室のシャワーや蛇口(台所)の連続使用時間と使用量が確認できます。また、あらかじめ設定した連続使用時間を越えると、アラームでお知らせします。お湯の使用量節約にお役立てください。なお、「湯量お知らせ」運転中は使用できません。
工場出荷時は、設定使用時間は「5分」、シャワーアラームは「しない」に設定されています。

準備 を押す

1 を押し、「シャワーアラーム」を選択し
 を押す..... シャワーアラーム設定画面になります

2 を押し、「しない」「する」のいずれかを選択し
 を押す..... 使用時間設定画面になります

3 を押し、アラームで知らせたい時間を設定し
 を押す..... 設定完了

「しない」を選択し、「決定」ボタンを押すと「標準画面」に戻り、ここで設定は完了します。

1～99分(1分刻み)で設定できます。

シャワーアラーム設定画面の表示例:
節約サポートメニュー
使用湯量目安/残湯量目安
おすすめ設定
シャワーアラーム
上手な使いかた
◀:選択 (決定):決定

シャワーアラーム設定画面の表示例:
シャワーアラーム設定
しない する
◀:選択 (決定):決定

シャワーアラーム設定画面の表示例:
シャワーアラーム設定
給湯が05分以上
続いた場合にアラームを出す
◀:設定 (決定):決定

標準画面の表示例:
14:00
湯はり 40℃ 給湯 40℃ タンク
40℃ 40℃

シャワーアラーム画面表示中に、給湯温度を確認・設定するときは

1 を押し、温度を確認・設定する

2 を押す..... シャワーアラーム画面に戻ります

給湯温度設定画面の表示例:
給湯温度設定
40℃
◀:設定 (決定):決定

シャワーアラーム画面の表示例:
シャワーアラーム
設定使用時間: 05分
使用時間: 05分 00秒
使用量: 45L
(戻る):戻る

シャワーアラーム画面表示中に、標準画面に戻す(シャワーアラームを中止する)ときは

1 を押す..... 標準画面に戻ります

標準画面の表示例:
14:00
湯はり 40℃ 給湯 40℃ タンク
40℃ 40℃

お知らせ

食洗器を使用すると、シャワーアラーム画面が表示される場合があります。

シャワーアラームを設定すると

給湯流量が4L/分以上の連続使用で、給湯（使用）量が基準量を越えるとシャワーアラーム画面が表示されます。画面には、給湯使用時間と給湯（使用）量が表示され、連続使用が停止されるまで、加算表示されます。

【基準量（L）＝設定使用時間×4L】

<例> 設定使用時間5分の場合 基準量＝5分×4L＝20L

給湯の連続使用が設定使用時間を越えると、次のアラーム音でお知らせします。
（アラーム音でお知らせ中はバックライトが点滅します。）

設定使用時間（5分）経過時点：「ピー」

設定使用時間（5分）＋2分経過時点：「ピーピー」

設定使用時間（5分）＋4分経過時点：「ピーピーピー」

以降、連続使用が停止されるまで、2分経過ごとに「ピーピーピー」でお知らせします。

連続使用が約10秒間以上停止されると、シャワーアラームを終了します。（シャワーアラーム画面は約3秒間以上停止すると、標準画面に戻りますが、給湯使用を再開すると、シャワーアラーム画面が継続して表示されます。）

シャワーアラーム画面表示中に  を押すと、シャワーアラームを終了し、標準画面に戻ります。

シャワーアラーム	
設定使用時間：05分	
使用時間：03分 05秒	
使用量：25L	
戻る:戻る	

シャワーアラーム	
設定使用時間：05分	
使用時間：05分 00秒	
使用量：45L	
戻る:戻る	

シャワーアラーム	
設定使用時間：05分	
使用時間：07分 00秒	
使用量：65L	
戻る:戻る	

シャワーアラーム	
設定使用時間：05分	
使用時間：09分 00秒	
使用量：85L	
戻る:戻る	

14:00		
湯はり	給湯	タンク
40℃	40℃	

お知らせ

シャワーアラーム画面は

リモコンの給湯温度を高く設定するほど表示されにくくなります。

浴室でシャワーを使用していない場合でも、台所や洗面所などで給湯を連続使用すると表示される場合があります。また、給湯の流量が少ないとき、最初少ない給湯流量で給湯し、途中から湯量を増やしたときは、表示されないことがあります。 →P.54

点検表示 →P.49 が表示されているときは、表示されません。

設定使用時間は

バックライトの点滅とアラーム音を、最初に出す時間です。

シャワーアラーム	
設定使用時間：05分	
使用時間：03分 05秒	
使用量：25L	
戻る:戻る	

使用量は

貯湯ユニットから出たお湯の量です。混合水栓の水側の水量は含みません。

複数の混合水栓で連続給湯された場合は、合計の値になります。

使用時間は

給湯開始からの給湯連続使用時間です。

複数の混合水栓で連続給湯された場合は、最後に給湯が停止されたときまでの時間になります。

シャワーアラーム画面表示中のボタン操作は

「給湯温度」と「戻る」ボタン以外のボタン操作はできません。給湯温度を確認・設定したいときは →P.29

「節約サポート」機能の使いかた(つづき)

おすすめ設定

●自動的にタンクに沸き上げるお湯の量を設定した「沸き上げ設定」と「湯切れ防止設定」→P.43 が、現在のお湯の使いかたに合った設定になっているか確認できます。頻繁にお湯が足りなくなる、いつもお湯が余る、お湯の使いかたが変わったなど、設定を見直したいときに確認してください。

準備

節約サポートを押す

節約サポートメニュー
使用湯量目安/残湯量目安
おすすめ設定
シャワーアラーム
上手な使いかた
◀:選択 (決定):決定

1

↑↓を押し、「おすすめ設定」を選択し
決定を押す

沸き上げ設定画面になります

おすすめ設定
沸き上げ設定
おすすめ
おまかせ節約 おまかせ多め
◀:選択 (決定):決定

2

◀▶を押し、「沸き上げ設定」を選択し
決定を押す

湯切れ防止設定画面になります

おすすめ設定
湯切れ防止設定
おすすめ
切 少量 全量
◀:選択 (決定):決定

3

◀▶を押し、「湯切れ防止設定」を選択し
決定を押す

設定完了

14:00
湯は 40℃ 給湯 40℃ タンク

お願い

設定後、お湯の使いかたなどに
変化があると、お湯が不足したり、
余ったりすることがあります。
この場合は、再度「おすすめ設定」
を確認してください。

黒地に白文字の表示が現在の設
定、「おすすめ」が付いた表示が
おすすめの設定です。

「湯切れ防止設定」ののおすすめは
「少量」を表示します。

上手な使いかた

●機能やお湯の上手な使いかたのポイントを表示します。お湯を沸き上げる電気代の節約や、お湯の節約などにお役立てください。

準備

節約サポートを押す

節約サポートメニュー
使用湯量目安/残湯量目安
おすすめ設定
シャワーアラーム
上手な使いかた
◀:選択 (決定):決定

1

↑↓を押し、「上手な使いかた」を選択し
決定を押す

上手な使いかた1/8画面になります

上手な使いかた 1/8
お湯の量が十分で沸き上げが
必要ない場合は、湯切れ防止
設定を切ることをおすすめし
ます。
◀:前へ ▶:次へ ◀:戻る ▶:戻る
→P.44

2

◀▶を押し、
見たい画面を選択
画面は8画面あります
確認後 戻るを押す

上手な使いかた 2/8
旅行などで不在となるときは、
使用休止予約で沸き上げの
休止設定ができます。
◀:前へ ▶:次へ ◀:戻る ▶:戻る
→P.33

上手な使いかた 3/8
お湯を使う最終時間が深夜時
間帯直前のときは、湯切れ防
止節約設定がおすすめです。
◀:前へ ▶:次へ ◀:戻る ▶:戻る
→P.44

上手な使いかた 4/8
お湯が冷めるので、入浴して
いないときは、浴そうにふた
をしましょう。
◀:前へ ▶:次へ ◀:戻る ▶:戻る
→P.26

上手な使いかた 5/8
お湯は出しっぱなしにせず、
蛇口やシャワーをこまめに止
めましょう。
◀:前へ ▶:次へ ◀:戻る ▶:戻る
→P.28

上手な使いかた 6/8
シャワーアラームを設定して
給湯の使用時間と使用量を確認
すれば、お湯の使いすぎに
注意することができます。
◀:前へ ▶:次へ ◀:戻る ▶:戻る
→P.29

上手な使いかた 7/8
使用湯量目安は、節約の目安
にもなります。蛇口やシャワ
ーをこまめに止めることが節
約につながります。
◀:前へ ▶:次へ ◀:戻る ▶:戻る
→P.28

上手な使いかた 8/8
14:00
湯は 40℃ 給湯 40℃ タンク

31

「タンク沸き増し」のしかた

- 残湯量目盛（タンクのお湯の量）が少ないときに、湯はりなどタンクのお湯を多く使いたい場合など、残湯量目盛を増やす（タンクにお湯を沸き上げる）のが「タンク沸き増し」ボタンです。

- タンクの残湯目盛がどの状態からでも、残湯量目盛5目盛まで沸き増しします。

残湯量						
沸き増し量						

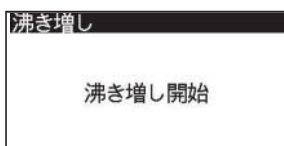
- ※1 残湯量表示は変わりません。
- ※2 タンク内に十分お湯があるときは、沸き増しができないことがあります。

- 1時間で沸き上げるお湯（40℃）のめやす 「約120L（冬季）～240L（夏季）」

「タンク沸き増し」運転のしかた

を押す

- 音声と表示でお知らせし、「タンク沸き増し」運転をはじめます。

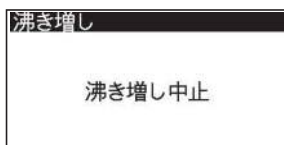


音声 沸き増しを開始します



運転の中止は を押す

- 音声と表示でお知らせし、「タンク沸き増し」運転を中止します。



音声 沸き増しを中止します

お願い

タンクのお湯が頻繁に足りなくなるときは、深夜時間帯の「沸き上げ」設定を確認し、「おまかせ節約」になっているときは「おまかせ多め」に設定を変更してください。

[→P.43](#)

お知らせ

タンク内に十分お湯があるときは沸き増し運転をしないことがあります。

昼間時間帯の「タンク沸き増し」運転は、電気料金が割高になります。

「使用休止」予約のしかた

- 旅行などである期間お湯を使わないことが分かっている場合は、「使用休止」予約をおすすめします。
- 蛇口やシャワーなどでお湯を1日使わなくても、タンクのお湯の温度が自然放熱などで下がるため、自動的に沸き上げを行います。 「使用休止」中は沸き上げを行わず、節約につながります。
- 「使用休止」中も気温が低くなると、凍結による機器の破損を防ぐため、沸き上げる場合があります。
- 休止できる日数は1日～31日間で、最大6か月先の月まで予約できます。

次の設定手順は、10月20日から使用を休止し、10月30日にお湯の使用を再開する場合です。

この設定では、29日の深夜時間帯から自動的に沸き上げを再開し、30日朝（深夜時間帯終了後）にはお湯が使えます。

準備

リモコンの扉を開け、 ボタンを押す

1

を押し、「タンク」の
「使用休止予約設定」を
選択し

を押す
「休止日」設定画面になります

2

を押し、休止日の
10月20日を設定し

を押す
「再開日」設定画面になります

3

を押し、再開日の
10月30日を設定し

を押す

4

休止日と再開日を確認後

を押す ...

設定完了

ご注意

冬季、気温が低くなるときは「使用休止」をしないでください。
タンクや配管が凍結し、故障の原因になります。

予約時刻の確認・変更・取消しは

① の操作をする

使用休止予約設定

予約中：再開日10月30日

継続 変更 取消

◀:選択 (決定):決定

◀ ▶ を押し、「継続」「変更」「取消」のいずれかを選択し

継続		休止予約を継続します
変更	を押す	②～④ の操作で日付を再設定します
取消		休止予約を取り消します

お知らせ

休止中は「変更」操作はできません。

使用休止予約設定

休止中：再開日10月30日

継続 取消

◀:選択 (決定):決定

給湯機の運転停止と再運転のしかた

- 給湯機を1か月以上使わないときは、タンクや配管のお湯（水）の劣化や、無駄な沸き上げをしないように、給湯機の運転を停止させ、タンクや配管のお湯（水）を抜いておきます。
- 給湯機周囲の外気温が0℃以下になると、タンク排水栓が凍結している場合があります。凍結している場合は無理に操作しないでください。破損の原因になります。
- ふたたび使用するときは「再運転のしかた」(→P.35)に従って、運転を再開してください。

運転停止のしかた

貯湯ユニットに脚（配管）カバーが付いている場合は、ねじを外し、カバーを外して作業し、作業終了後は、カバーを取り付けてください。

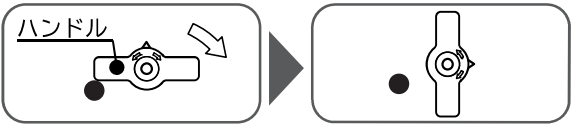
1

タンク内の温度を下げる

- 1 混合水栓（蛇口）を開きお湯を出す
・タンクの排水時に熱湯が排水されることを防止するためにタンク内のお湯を出します。
- 2 混合水栓（蛇口）を閉める
・蛇口からぬるい水が出てきたら、蛇口をしめます。（排水温度は45℃以下にしてください。）

2

タンクや配管のお湯（水）を抜く

- 1 漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする
- 2 タンク専用止水栓を閉じる
・タンク専用止水栓の位置が分からない場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。
- 3 逃し弁のレバーを上げる
- 4 タンク排水栓のハンドルを右に回し、排水する。

・タンクの排水は、満タンの場合約60分～90分かかります。
- 5 水抜き栓（4か所）を開き、お湯（水）を抜く

3

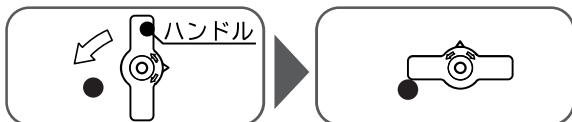
ヒートポンプユニットの配管のお湯（水）を抜く

- 1 カバーを外す
・プラスドライバーを使用してねじ（1本）を外し、カバーをツメ（6箇所）が外れるまで下方へスライドさせて外します。
- 2 水抜き栓（3か所）を開き、お湯（水）を抜く

4

タンク排水栓と各水抜き栓を閉じる

- タンク排水管と各水抜き栓からお湯（水）が出なくなったら
- ・貯湯ユニットのタンク排水栓のハンドルを左に回し、元の位置に戻す。



- ・貯湯ユニットの水抜き栓（4か所）を閉じる。
- ・ヒートポンプユニットの水抜き栓（3か所）を閉じ、カバーを取り付ける。

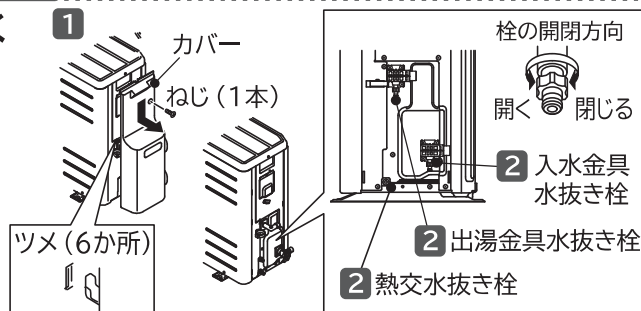
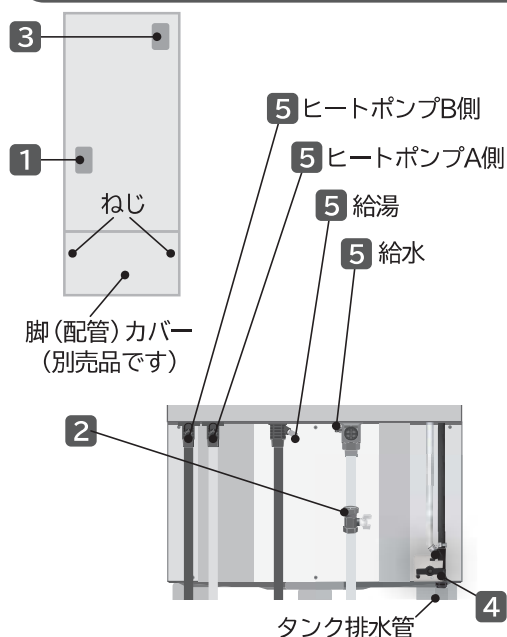
警告



配管やお湯に手を触れない

やけど注意

※高温になっている場合があり、やけどのおそれがあります。



お願い

水抜き終了後、タンク排水栓、各ユニットの水抜き栓が閉まっていることを確認してください。

凍結のおそれの高い地域の場合、水抜き作業はお買い上げの販売店または工事店に依頼してください。（作業は有償になります）
本ページの水抜きでは、配管の一部に水が残り、凍結を完全に防ぐことはできず、部品故障のおそれがあります。

給湯機の運転停止と再運転のしかた (つづき)

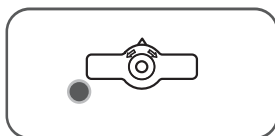
再運転のしかた

貯湯ユニットに脚(配管)カバーが付いている場合は、ねじを外し、カバーを外して作業し、作業終了後は、カバーを取り付けてください。

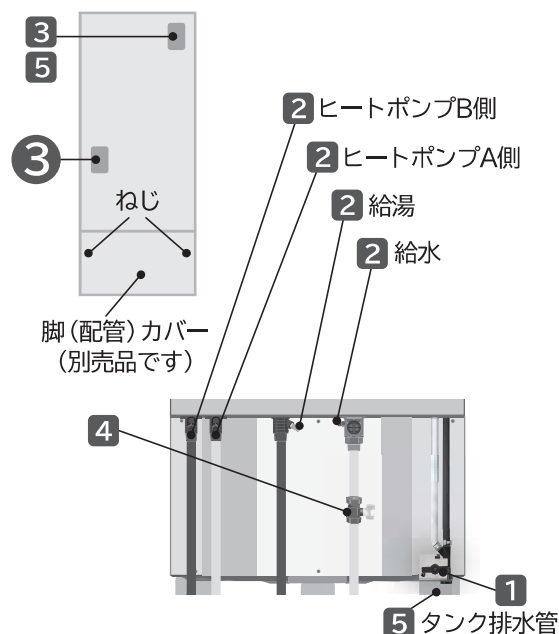
1

タンクに給水する

- 1 タンク排水栓が「通常」位置になっていることを確認する



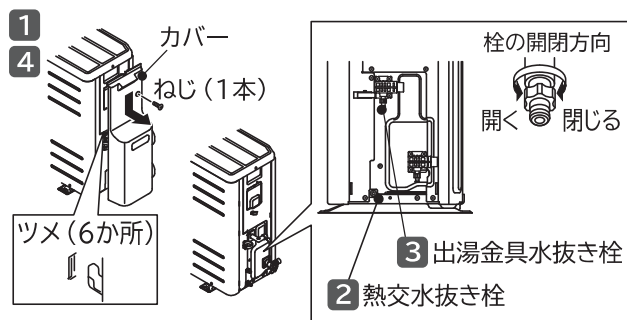
- 2 水抜き栓(4か所)が閉じていることを確認する
- 3 逃し弁のレバーが上がっていることを確認する
- 4 タンク専用止水栓を開き、タンクに給水する
- 5 タンク排水管から水が連続して出てきたら、逃し弁のレバーを下げる
 - ・連続で水が出たら満水です。
 - ・満水まで約30分~40分かかります。



2

ヒートポンプユニットのエア抜きをする

- 1 カバーを外す
 - ・プラスドライバーを使用してねじ(1本)を外し、カバーをツメ(6箇所)が外れるまで下方へスライドさせて外します。
- 2 「熱交水抜き栓」を3分間以上開き、水が勢いよく出たら、「熱交水抜き栓」を閉じる。
- 3 「出湯金具水抜き栓」を3分間以上開き、水が勢いよく出たら、「出湯金具水抜き栓」を閉じる。
- 4 カバーを取り付ける



3

漏電遮断器のスイッチを「ON」にする

お願い

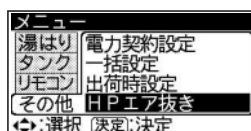
漏電遮断器のスイッチは、タンクの満水とヒートポンプユニットのエア抜きを必ず実施してから、「ON」にしてください。ヒートポンプユニットのエア抜きをせずに「ON」した場合、故障の原因となります。

4

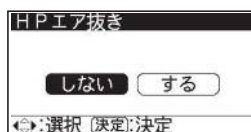
ヒートポンプ配管のエア抜きをする

1 リモコンの扉を開け、 ボタンを押す

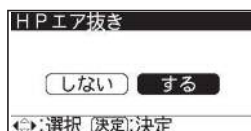
2  を押し、「その他」の「HPエア抜き」を選択し



 を押す ➡
「HPエア抜き」設定画面になります



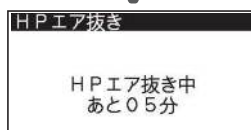
3   を押し、「する」を選択し



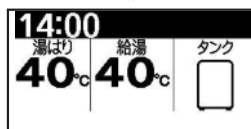
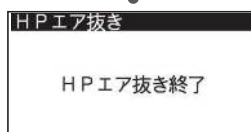
 を押す
「HPエア抜き開始」画面になり、運転をはじめます。



「HPエア抜き」運転の残り時間を表示しながら約5分間行います。



「HPエア抜き」運転の終了は表示画面でお知らせし、標準画面に戻ります。



タンクのお湯(水)の非常時使用のしかた

- 万一の災害時などは、タンクのお湯を非常用生活用水と使用することができます。
- 飲用はできません。やむを得ない場合は、沸騰させてから飲用してください。

貯湯ユニットに脚(配管)カバーが付いている場合は、ねじを外し、カバーを外して作業し、作業終了後は、カバーを取り付けてください。

1

漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする

2

タンク専用止水栓を閉じる

- ・タンク専用止水栓の位置が分からない場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

3

逃し弁のレバーを上げる

4

取水ホースの先端を熱に強い容器で受ける

- ・熱湯(最高90℃)が出る場合があります。

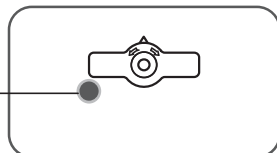
5

タンクのお湯(水)を出す

1

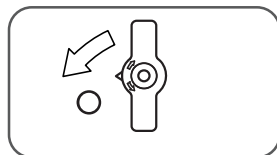
ねじを取り外す

ねじ



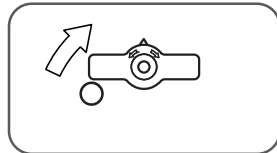
2

ハンドルを左側に回し
お湯(水)を出す



3

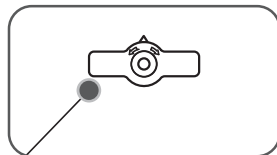
お湯(水)を止めるときはタンク排水栓を右に回し、元の位置に戻す



4

お湯(水)の使用が終わったときは、ねじを取り付ける

ねじ



警告



配管やお湯に手を触れない

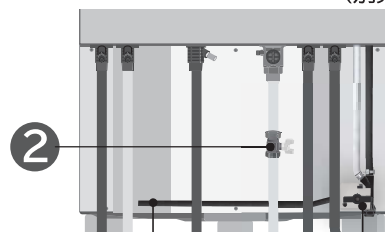
- ※高温になっている場合があり、やけどのおそれがあります。

3

1

ねじ

脚(配管)カバー
(別売品です)



2

4

5

タンク排水栓

お願い

取水ホースから出るお湯(水)の最初は湯アカなどが含まれている場合があります。しばらく流し捨ててからお使いください。

お湯の使用が終わったときは、タンク排水栓ハンドルを「通常」に戻し、ねじを取り付けてください。

給湯機として再び使用するときには、「再運転のしかた」(→P.35)に従ってください。

給湯機周囲の外気温が0℃以下になるとタンク排水栓が凍結している場合があります。凍結している場合は無理に操作しないでください。破損の原因になります。



警告



非常用生活用水使用時は湯温を確かめて熱に強い容器を使用する

- 熱いお湯(最高90℃)が出ます。やけどにご注意ください。
- ガラス容器などは熱により割れることがあります。

停電したときの使いかた

■停電中

- リモコン表示画面が消え、運転中の機能は運転停止します。なお各機能の設定内容は記憶されています。
- 「給湯」機能は使えません。また混合水栓から出るお湯（水）は、タンクにお湯があればお湯は出ますが、設定温度のお湯にならない場合があります。熱いお湯が出る場合がありますので、ご注意ください。

■停電復帰時

- リモコン表示画面の時刻と各設定内容を確認します。
 - ・正しい現在時刻が表示され、温度などの設定が停電前と変わっていなければ、そのままご使用になれます。
 - ・時刻表示が現在時刻とずれていると、電気料金が割高になる場合がありますので、現在時刻に合わせてください。
- 停電前に運転していた機能は、停電が復帰しても自動的に再運転しません。再度運転したい場合は、運転したい機能のボタンを押して運転してください。

14:00		
湯はり 40℃	給湯 40℃	タンク ■
湯はり湯量 200L	シャワーアーム	おまかせ節約 湯切防止少量

お願い 湯量お知らせ運転中に停電した場合は、湯はり終了のお知らせはありません。また、停電復帰後、湯量お知らせ運転は継続しますが、湯はり終了お知らせの前に、浴そうのお湯があふれることがありますのでご注意ください。

断水したときの使いかた

■断水中

- 断水したときは、「タンク専用止水栓」を閉じてください。

- ご注意** 「タンク専用止水栓」を開けたままにすると、次のような原因になります。
- ・断水が復帰したときに、濁った水がタンクに給水され、お湯が濁ったり、貯湯ユニットのフィルター（ストレーナ）が目詰まりして、お湯の出が悪くなります。
 - ・タンクに空気が入り、設定温度のお湯が出なかったり、お湯の温度が安定しなくなります。

- すべての混合水栓を閉じておいてください。
- タンクに給水されないため、タンクにお湯があっても、「給湯」機能、お湯、水とも使えません。

お知らせ タンクのお湯を非常用生活用水として使用することができます。

■断水復帰時

- 断水が復帰したときは、次の確認をしてから、「タンク専用止水栓」を開けて、使用を再開してください。
 - ・混合水栓を水側を開けて、水の濁りや空気の混ざりがなくなったことを確認する。
 - ・断水復帰直後は水圧が低い場合があります。水圧が高くなったことを確認する。

凍結防止のしかた

- 各配管に保温工事がされていても、給湯機周囲の外気温が0℃以下になると、配管が凍結し、配管や貯湯ユニットが破損することがあります。寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、凍結防止を必ず行ってください。

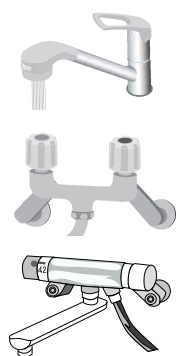
■給水配管、給湯配管の凍結防止策

給湯温度を「低温」に設定してから、混合水栓を、わずかに水が出る（1分間に 200cc：コップ1杯分）ように開けておく

シングルレバーの場合は、レバーを水側と湯側の中間位置にして開けます。

ツーハンドルの場合は、水側と湯側のハンドルを同じ程度に開けます。

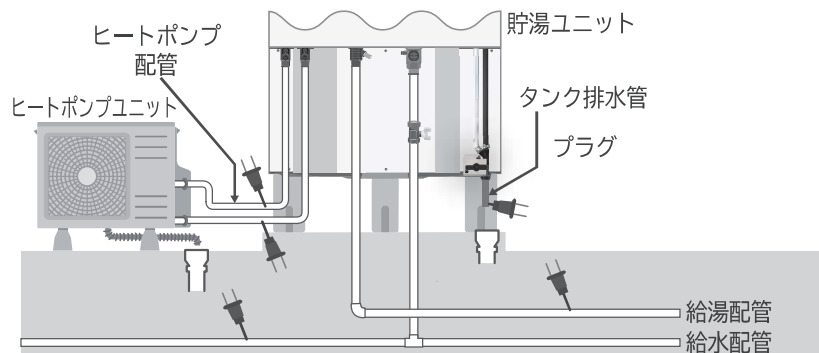
サーモスタット付の場合は、混合水栓の温度設定を40℃前後して、ハンドルを開けます。



■配管全体の凍結防止策

凍結防止ヒーターを使う

凍結防止ヒーターがある場合は、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。



お願い

配管が凍結した場合は、タンク専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店または工事店へ連絡してください。

凍結しない季節になったときは、凍結防止ヒーターのプラグをコンセントから抜いてください。

お手入れと確認・点検

リモコン・・・こまめにお手入れ

●リモコンの表面は、湯アカや石けんカスで汚れ、時間経過とともに落ちにくくなります。こまめにお手入れしてください。

乾いた布や水に濡らした布を硬く絞って拭く

- ・汚れが落ちにくい場合は、台所用中性洗剤をお湯で薄め布に含ませて拭き取ってください。

ご注意 「台所用中性洗剤以外の洗剤」や「ベンジン」「シンナー」などを使用しないでください。
※リモコンの変形、変色の原因になります。

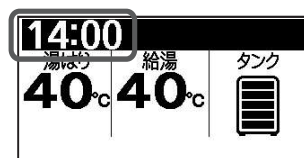
水洗いしないでください。
※リモコンの故障の原因になります。

時刻表示・・・月に1度は確認

●リモコンの時刻表示が現在時刻になっていないと電気料金が割高になる場合があります。月に1度は確認してください。

時刻表示を現在時刻にする

→ P.46

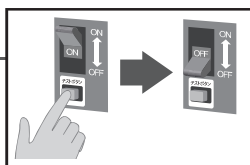


漏電遮断器・・・月に1度は動作を確認

●万一漏電したときに電気を切る安全装置です。動作を月に1度は確認してください。確認後は操作カバーを閉じてください。開けたままの使用は、漏電や感電の原因になります。

1 「テストボタン」を押し、スイッチが「OFF」になることを確認する。

2 スイッチを「ON」に戻す



警告



漏電遮断器の動作確認する

動作確認

故障のまま使用すると感電や火災の原因となります。

お願い 「テストボタン」を押しても「OFF」にならない場合は、200V電源ブレーカーを「OFF」にして、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

配管全体・・・年に1度は点検

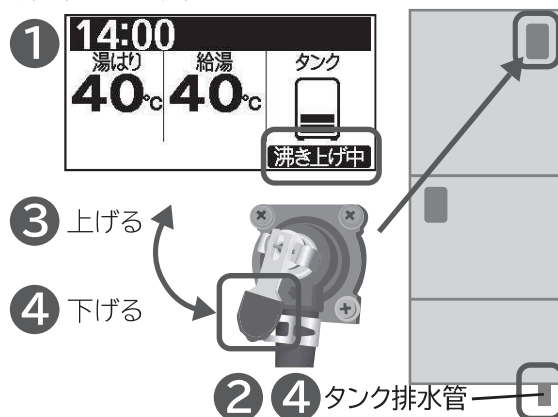
●水やお湯が漏れていないか、保温材が傷んでいないかを点検してください。特に集合住宅（マンション）での水やお湯の漏れは、階下に被害を及ぼします。

お手入れと確認・点検（つづき）

逃し弁・・・年に2～3度は動作を確認

●「沸き上げ」や「沸き増し」時のタンクのお湯の膨張水を排出し、タンク内の圧力上昇を防ぐ安全装置です。

- 1 表示画面に「沸き上げ中」または「沸き増し中」が表示されていないことを確認する
- 2 タンク排水管からお湯が出ていないことを確認する
- 3 逃し弁のレバーを上げ、タンク排水管からお湯が出ることを確認する
- 4 逃し弁のレバーを下げる
・お湯が止まらない場合は、レバーを2～3回上げ下げしてください。



お知らせ

●「沸き上げ」または「沸き増し」中に、少量のお湯を排水するのは正常な動作です。



警告



逃がし弁点検時はタンク排水栓に触れない

やけど注意 ・やけどの原因となります。

タンク・・・年に2～3度は排水を実施

●タンク内底部には、使用にともない、湯アカなどの沈でん物がたまります。タンクのお湯（水）を排水して除去してください。

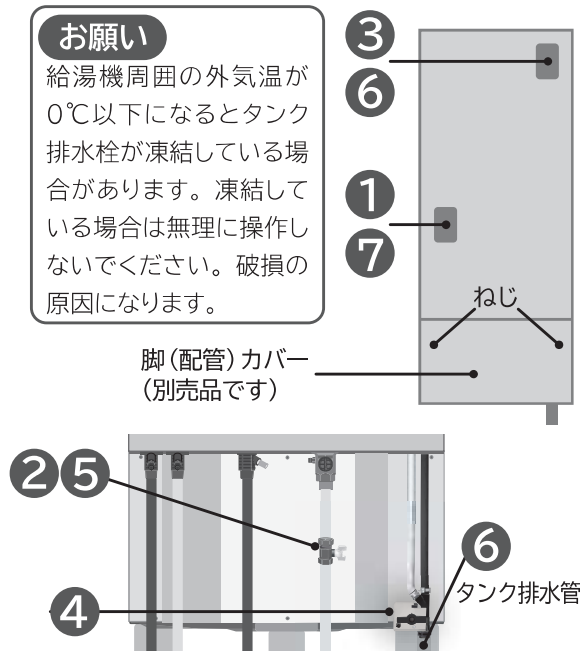
- 1 漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする
- 2 タンク専用止水栓を閉じる
・タンク専用止水栓の位置が分からない場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。
- 3 逃し弁のレバーを上げる
- 4 タンク排水栓のハンドルを右側に回し、約2分間排水し、元の位置に戻す

- 5 タンク専用止水栓を開ける
- 6 タンク排水管からお湯が出てきたら、逃し弁のレバーを下げる
・お湯が止まらない場合は、レバーを2～3回上げ下げしてください。
- 7 漏電遮断器のスイッチを「ON」にする

貯湯ユニットに脚（配管）カバーが付いている場合は、ねじを外し、カバーを外して作業し、作業終了後は、カバーを取り付けてください。

お願い

給湯機周囲の外気温が0℃以下になるとタンク排水栓が凍結している場合があります。凍結している場合は無理に操作しないでください。破損の原因になります。



警告



お湯に手を触れない

・排水時は熱湯が出る場合がありますやけどの原因になります。

給湯機の設定

時間帯別電灯契約の「契約番号」の設定

●この給湯機が契約されている「時間帯別電灯契約の名称」または「季節別時間帯別電灯契約の名称」に対応した「契約番号」を設定します。（工場出荷時は「04」が設定されています）

■契約番号と時間帯別電灯契約、季節別時間帯別電灯契約の時間帯の概要（2014年9月現在）

●各契約の内容詳細については、各電力会社にお問い合わせください。

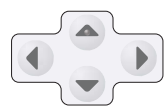
●時間帯の名称のグラフの上の数字は時刻です。Aゾーン、Bゾーン、Cゾーンの用語は、説明のための日立独自用語で、電力会社が定めたものではありません。

電力会社	時間帯別電灯契約の名称	契約番号	契約番号	時間帯の名称
北海道電力	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯22時～6時）	07	00	深夜時間帯 Aゾーン 7 23 24 昼間時間帯 Bゾーン
	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯23時～7時）	08	01	深夜時間帯 Aゾーン 8 23 24 昼間時間帯 Bゾーン
	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯24時～8時）	09	02	深夜時間帯 Aゾーン 7 10 23 24 朝晩・リビング Bゾーン 17 朝晩・リビング Bゾーン
東北電力	eタイム3	12	03	深夜時間帯 Aゾーン 8 10 23 24 朝晩・リビング Bゾーン 17 朝晩・リビング Bゾーン
	やりくりナイト8	00	04	深夜時間帯 Aゾーン 7 9 23 24 朝晩・リビング Bゾーン 17 朝晩・リビング Bゾーン
	ピークシフト季節別時間帯別電灯	10	05	深夜時間帯 Aゾーン 8 10 23 24 朝晩・リビング Bゾーン 17 朝晩・リビング Bゾーン
東京電力	やりくりナイト10、やりくりナイトS	06	06	深夜時間帯 Aゾーン 8 22 24 昼間時間帯 Bゾーン
	おトクなナイト8	00	07	深夜時間帯 Aゾーン 6 16 18 22 24 昼間時間帯 Bゾーン 13 16 23 24 朝晩・リビング Bゾーン
	電化上手	02	08	深夜時間帯 Aゾーン 7 23 24 昼間時間帯 Bゾーン 16 18 23 24 朝晩・リビング Bゾーン
中部電力	おトクなナイト10	06	09	深夜時間帯 Aゾーン 8 23 24 昼間時間帯 Bゾーン 16 18 23 24 朝晩・リビング Bゾーン
	タイムプラン	00	10	(7月1日～9月30日) 深夜時間帯 Aゾーン 7 23 24 昼間時間帯 Bゾーン 13 16 23 24 朝晩・リビング Bゾーン
	Eライフプラン	04	11	(10月1日～翌6月30日) 深夜時間帯 Aゾーン 7 23 24 昼間時間帯 Bゾーン 23 24
北陸電力	エルフナイト8	00	12	(7月1日～9月30日) 深夜時間帯 Aゾーン 8 23 24 昼間時間帯 Bゾーン 13 16 23 24 朝晩・リビング Bゾーン
	エルフナイト10プラス	05		(10月1日～翌6月30日) 深夜時間帯 Aゾーン 8 23 24 昼間時間帯 Bゾーン 22 24
	エルフナイト10	06		(10月1日～翌6月30日) 深夜時間帯 Aゾーン 8 23 24 昼間時間帯 Bゾーン 22 24
関西電力	時間帯別電灯	00		(10月1日～翌6月30日) 深夜時間帯 Aゾーン 8 23 24 昼間時間帯 Bゾーン 22 24
	はぴeタイム	02		
	季時別電灯PS	10		
中国電力	エコノミーナイト	01		
	ファミリータイム	03		
四国電力	電化Deナイト、得トクナイト	00		
	ピークシフト型時間帯別電灯	10		
九州電力	時間帯別電灯（8時間型）	00		
	季時別電灯	05		
	時間帯別電灯	06		
沖縄電力	ピークシフト電灯	11		
	時間帯別電灯	00		
	Eeらいふ	02		

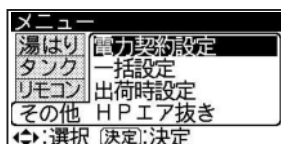
準備

リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

1

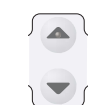


を押し、「その他」の「電力契約設定」を選択し

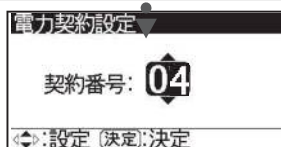


を押す.....「契約番号」設定画面になります

2

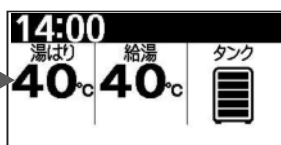


を押し、「契約番号」を設定し



を押す.....

設定完了



お願い

契約番号の設定が誤っていると、電気料金が割高になる場合があります。契約内容をよく確かめて設定してください。

なお、この契約番号は日立独自の番号で、電力会社が定めたものではありません。

給湯機の設定（つづき）

タンクに自動的に沸き上げるお湯の量の設定

沸き上げ設定

●深夜時間帯に自動的にタンクに沸き上げるお湯の量の設定です。下の「沸き上げ設定の目安」を参考に設定してください。（工場出荷時は「おまかせ節約」が設定されています）

沸き上げ設定の目安

沸き上げ設定	沸き上げ内容と設定の目安
おまかせ節約 (約65～90℃)	昨日までの7日間の平均使用量に応じた湯量を深夜時間帯に沸き上げます。 お湯の余りが少なくなるように、少なめに沸き上げる節約設定です。 ●お湯の使用量が少ない場合の設定です。 ※まずはこの設定で使い、頻繁にお湯が不足（湯切れ）する場合は「おまかせ多め」に設定を変更してください。
おまかせ多め (約70～90℃)	昨日までの7日間の最大使用量に応じた湯量を深夜時間帯に沸き上げます。 お湯が不足（湯切れ）しにくいように、多めに沸き上げる設定です。 ●お湯の使用量が多い場合の設定です。 ※頻繁にお湯が余る場合は「おまかせ節約」に設定を変更してください。

お湯の使用量が多く深夜時間帯だけでは沸き上げできない場合は、「Bゾーン時間帯」→P.42でも沸き上げを行います。

温度は、ヒートポンプユニットで沸き上げるお湯の温度です。

タンクにたまるお湯の温度は、タンクまでの配管の長さ・保温状態や外気温などにより、この温度より低くなります。

「おまかせ多め」設定でも「追いだき」がでなくなる場合は「タンク沸き増し」ボタンを押して沸き上げをしてください。

→P.32

「Bゾーン時間帯」での「沸き上げ」は次のように運転します。

・残湯量目盛の上から2目盛が消灯する所に運転をはじめます。→P.16

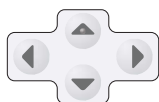
そのため「湯切れ防止」・「少量」が設定されている場合でも、「湯切れ防止」運転より先に運転します。

・「湯切れ防止」が「切」に設定されている場合は、運転しません。→P.44

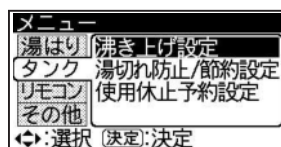
準備

リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

1



を押し、「タンク」の「沸き上げ設定」を選択し

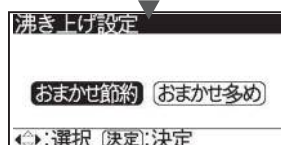


を押す.....
「沸き上げ設定」画面になります

2



を押し、「おまかせ節約」または「おまかせ多め」を設定し



を押す
.....

設定完了



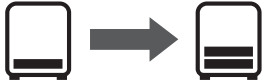
お知らせ

自動沸き上げ運転中は、表示画面に「沸き上げ中」が表示します。



湯切れ防止/節約設定

- 湯切れ防止は、昼間時間帯にタンクのお湯が減ると、自動的に沸き上げるお湯の量の設定です。
- 下表を参考に設定してください。(工場出荷時は「少量」が設定されています)

設定の目安	お湯の使用量が少ない ← → お湯の使用量が多い		
設定	切	少量	全量
運転の内容	「湯切れ防止」運転しません	タンクの残湯量が少なくなると、追加でお湯を約75L増やします  残湯量目盛イメージ	タンクのお湯を約75L使うと、お湯の量を満タンまで増やします  残湯量目盛イメージ

お知らせ

残湯量目盛は、タンクのお湯の温度を検知して表示しているため、目盛が多く表示されている場合でも「湯切れ防止」運転を行うときがあります。

- 節約設定は、「湯切れ防止」を設定したとき、残湯量が少なくなっても、設定した時刻から翌日のBゾーン開始時刻まで「湯切れ防止」運転を休止して、電気料金を節約する設定です。朝7時から設定できます。(工場出荷時は「しない」が設定されています)

準備

リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

1

を押し、「タンク」の「湯切れ防止/節約設定」を選択し

決定 を押す

「湯切れ防止設定」画面になります

2

を押し、「切」「少量」「全量」のいずれかを選択し

決定 を押す

「節約設定」画面になります

3

を押し、「節約設定」を選択し

決定 を押す

「時刻入力」画面になります

4

を押し、湯切れ防止を休止する開始時刻を設定し

決定 を押す

設定完了

湯はり 給湯 タンク

40℃ 40℃

●既に設定されている内容を反転表示します。

●湯切れ防止設定を「切」にすると「湯切れ防止」機能ははたさませんので、湯切れする可能性があります。

●「切」を選択し、「決定」ボタンを押すと「標準画面」に戻り、ここで設定は完了します。

●既に設定されている内容を反転表示します。

●「しない」「おまかせ」を選択し、「決定」ボタンを押すと「標準画面」に戻り、ここで設定は完了します。

●設定は「7:00」から30分刻みで設定できます。

●時刻を設定するとその時刻以降は翌日のBゾーン開始時刻まで「湯切れ防止」機能は、はたさませんので湯切れする可能性があります。

44

給湯機の設定（つづき）

音声案内の設定

●音声ガイド内容・音量を設定します。

音声ガイド内容設定

●音声ガイドする範囲の設定です。(工場出荷時は「しんせつ」が設定されています)

ガイド・操作音量設定

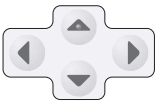
●音声ガイドや操作音量（ボタンを押したときに鳴る）の音量設定です。(「おしえて」ボタンでのガイドの音量も含まれます)

●消音（音なし）、小、標準、大が設定できます。(工場出荷時は「標準」が設定されています)

準備

リモコンの扉を開け、 ボタンを押す

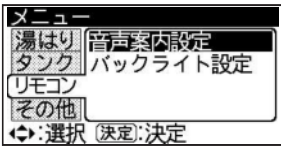
1



を押し、「リモコン」の「音声案内設定」を選択し

 を押す

「音声ガイド設定」画面になります



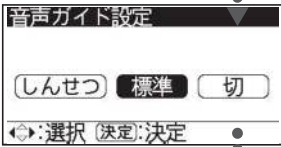
2



を押し、「しんせつ」「標準」「切」のいずれかを選択し

 を押す

「ガイド・操作音量設定」画面になります



3



を押し、音量（小・標準・大）または、消音のいずれかを設定し

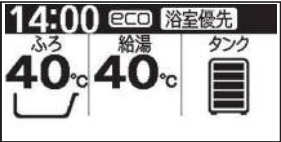
 を押す

設定完了



音声・操作音の音量を設定します。音量が標準に(音が鳴らないように/小/大)設定されています。

音声 



設定	ガイド内容
しんせつ	操作方法ガイド 機能運転ガイド 設定内容ガイド 運転停止ガイド 安全に関わるガイド
標準	運転停止ガイド 安全に関わるガイド
切	ガイドなし

(切) (小) (標準) (大)



設定に対応した音量でお知らせします。

お知らせ

同じ音量でも深夜など雑音が少ない環境では大きく聞こえたり、雑音が多い昼間は聞き取りにくくなることがあります。

45

現在年月日・現在時刻の設定

- 給湯機を使用するにあたっては、現在年月日と現在時刻の設定が必要です。
- この設定は、深夜時間帯の運転、日々のお湯の使用量に応じた量のお湯を沸かす運転、予約運転など、いろいろな機能を正しく運転するための設定です。

●注意

リモコンの時刻表示が現在時刻になっていないと電気料金が割高になる場合があります。
月に1度は確認してください。

14:00

湯はり 40℃

給湯 40℃

タンク

現在年月日と現在時刻の設定

- 台所リモコンには、「日付時刻」ボタンがあり、少ない操作で時刻の設定ができます。

準備

リモコンの扉を開け

1

日付時刻
(3秒押し)

を約3秒以上
長押しする

「日付設定」画面になります

14:00

湯はり 40℃

給湯 40℃

タンク

2

← ↑ → ↓

を押し、「年」「月」「日」を
選択しながら、現在日付
を設定し

決定 を押す

「時刻設定」画面になります

日付/時刻設定

日付設定

2014年 10月 10日

◀:選択 ▶:設定 (決定):決定

3

← ↑ → ↓

を押し、「時」「分」を選択
しながら、現在時刻を設定し

決定 を押す

設定完了

日付/時刻設定

時刻設定

19:00

◀:選択 ▶:設定 (決定):決定

19:00

湯はり 40℃

給湯 40℃

タンク

お知らせ

「一括設定」でも日付/時刻
を設定できます。 →P.20

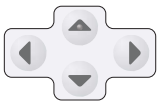
給湯機の設定（つづき）

バックライト点灯時間の設定

●この設定は、リモコンボタン操作時に点灯するバックライトの点灯時間の設定です。

準備 リモコンの扉を開け、**メニュー** ボタンを押す

1  を押し、「リモコン」の「バックライト設定」を選択し
 を押す 「バックライト設定」画面になります

2  を押し、バックライトの「点灯時間」を選択し
 を押す 設定完了

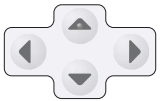
メニュー画面: メニュー (湯はり, タンク, リモコン, その他) 選択: リモコン (決定: 決定)
バックライト設定画面: バックライト設定 (30秒, 1分, 10分, 20分, 30分, 切) 選択: 1分 (決定: 決定)

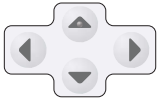
設定完了画面: 14:00 湯はり 40℃ 給湯 40℃ タンク

湯はり完了音の設定

●この設定は、「湯量お知らせ」運転終了時に流れる完了音の設定です。

準備 リモコンの扉を開け、**メニュー** ボタンを押す

1  を押し、「湯はり」の「湯はり完了音設定」を選択し
 を押す 「湯はり完了音設定」画面になります

2  を押し、「湯はり完了音」を選択し
 を押す 設定完了

湯はり完了音設定画面: 湯はり完了音設定 (メロディ1, メロディ2, メロディ3, チャイム) 選択: メロディ1 (決定: 決定)

設定完了画面: 14:00 湯はり 40℃ 給湯 40℃ タンク

「おしえて」ボタンを押すと選択している完了音を再生します。

工場出荷時設定

●下表の設定項目を工場出荷時の設定にします。

設定項目	工場出荷時設定	説明頁	設定項目	工場出荷時設定	説明頁
給湯温度	40℃	→P.23	使用休止予約	なし	
湯はり温度	40℃	→P.24	使用休止予約の休止日	なし	→P.33
湯はり湯量	200L		使用休止予約の再開日	なし	
湯はり完了音	メロディ1	→P.47	音声ガイド	しんせつ	→P.45
沸き上げ	おまかせ 節約	→P.43	ガイド・操作音量	標準	→P.45
湯切れ防止	少量	→P.44	コントラスト	レベル8	→P.12
節約設定	しない		シャワーアラーム設定	しない	→P.29
電力契約番号	04	→P.42	バックライト設定	1分	→P.47

準備

リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

1

を押し、「その他」の「出荷時設定」を選択し

決定

を押す.....

「出荷時設定」画面になります

2

を押し、「はい」を選択し

決定

を押す.....

設定完了

再起動します
しばらくお待ちください

14:00

湯はり 給湯 タンク

40℃ 40℃

出荷時設定

初期状態に戻しますか？

いいえ

はい

選択 決定

「いいえ」を選択して「決定」を押すと、現在の設定を継続します。

お願い

工場出荷時の設定に戻したあとは、「一括設定」を行ってからご使用ください。

→P.20

お困りのときは

リモコンにこんな表示が表示されたときは

- 下記の点検表示が表示された場合は点検が必要なため、お買い上げの販売店、または「修理コールセンター」にご連絡ください。

点検表示の例

点検 Er17
メニューボタンを3秒以上
長押しすると点検表示を
解除できます。
(決定):決定 ◀▶:次へ

点検 Er11
本体の電源スイッチを一度
切り、再び入ると点検表示
を解除できます。
(決定):決定 ◀▶:次ページ

点検 Er14
ご使用を控え、お買い上げの
販売店、または修理コール
センターに連絡して
ください。
(決定):決定 ◀▶:次ページ

点検表示	点検必要箇所	点検表示の解除方法	点検表示解除後の給湯機使用
Er 01~14	貯湯ユニット関係	点検表示内容に従い 解除（標準画面に戻す） する	お買い上げの販売店、または 「修理コールセンター」にご連絡 ください。 →P.57
Er 17~32			
Er 52~78			
HE 01~16、19	ヒートポンプユニット関係	「メニュー」ボタンを3 秒以上長押し、解除 （標準画面に戻す）する	
HE 22~44			
HE 17、20、21	ヒートポンプ配管関係		
C-09			

お知らせ

販売店がリモコンに連絡先の登録を行っている場合は、点検表示画面のときに ▶ を押すと、連絡先画面が表示されます。

点検 Er11
本体の電源スイッチを一度
切り、再び入ると点検表示
を解除できます。
(決定):決定 ◀▶:次へ

▶ を押す

点検 Er11
販売店名:
〇〇デンキ
電話番号:
1 2 3 4 - 5 6 7 - 8 9 0
(決定):決定 ◀▶:前ページ

点検表示の解除(標準画面に戻す)のしかた

- 解除は台所リモコンで行います。

準備

リモコンの扉を開ける

1

点検 Er17
メニューボタンを3秒以上
長押しすると点検表示を
解除できます。
(決定):決定 ◀▶:次へ

決定 を押す

Er17
湯はり 給湯 タンク
40℃ 40℃

お知らせ

処置しても、なお点検表示が出る場合や該当する原因がない場合は、お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。

2

メニュー を3秒以上長押しする

14:00
湯はり 給湯 タンク
40℃ 40℃

お問い合わせ項目もくじ

1 貯湯ユニット(タンク)関係 … 51

よくあるお問い合わせ

タンク排水管からお湯が出ている

⇒沸き上げ中はお湯が出ます。

→P.51

2 ヒートポンプユニット関係 … 51

ヒートポンプ排水管から水が出ている

⇒沸き上げ中は水が出ます。

→P.51

ヒートポンプユニットが昼間時間帯に運転している

⇒お湯が不足しないように沸き上げを行っています。「湯切れ防止」が設定されていると、運転する場合があります。

→P.51

3 給湯関係 …… 52 53

混合水栓を開けても、すぐにお湯が出ない

⇒給湯配管内の残留水が先に出ます。

→P.52

シャワーや蛇口からのお湯の温度が低い

⇒配管の放熱などで、設定温度にならない場合があります。

→P.52

サーモスタット混合水栓で設定した温度のお湯が出ない

⇒リモコンの給湯温度を、サーモスタット混合水栓の設定温度より約10℃高くしないと、サーモスタット混合水栓の設定温度のお湯は出ません。

→P.52

4 ふろ関係 …… 53

浴そうのお湯が青く見える

⇒浴そうや光の色の加減によって青く見える場合があります。

→P.53

浴そうや洗面器に青い線が付く

⇒銅配管から溶出するわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して付くことがあります。

→P.53

5 リモコン関係 …… 53 54

リモコンの表示画面が薄い、濃い、縦線が入る

⇒設置場所の明るさや温度などによって見にくくなる場合があります。

→P.54

深夜時間帯終了時に残湯量目盛が5目盛表示されていない

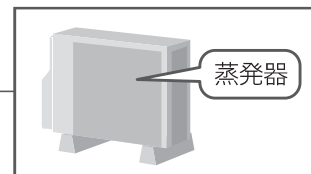
⇒お湯の使用量が少ないときや、深夜時間帯にお湯を多く使用すると、5目盛表示されない場合があります。

→P.54

お困りのときは(つづき)

こんなときには、修理を依頼される前に確認を

こんなときは		確認事項と処置方法
1 貯湯ユニット(タンク)	タンク排水管からお湯が出ている	沸き上げ中(リモコンに 沸き上げ中 または 沸き増し中 が表示されている)ではありませんか？ ⇒沸き上げ中である：正常な動作です。沸き上げ中は、タンク内の水がお湯になるときに膨張した分を排水します。深夜時間帯での沸き上げでは、通常約10L～20Lを排水します。 ⇒沸き上げ中でない：「逃し弁」の点検を行ってください。 →P.41
	タンク沸き増しを行うと、残湯量目盛が一気に増えるまたはすべて点灯する	正常な動作です。残湯量目盛は、45℃以上のお湯の量を表示するようになっています。このため、タンクのお湯の温度が45℃に近いときにタンク沸き増しを行うと、短時間でタンクのお湯の温度が45℃を超えるため、残湯量目盛が一気に増えます。タンクの温度状態によっては、全点灯することがあります。
2 ヒートポンプユニット	昼間時間帯に運転している	湯切れ防止が設定(リモコンに「湯切れ防止少量」または「湯切れ防止全量」が表示されている)されていませんか？ ⇒正常な動作です。設定されていると、残湯量目盛が全て点灯していてもタンクのお湯の減り具合により、自動的にヒートポンプを運転し、沸き上げを行います。 →P.44
	深夜時間帯になっても運転しない	正常な動作です。深夜時間帯終了時刻に合わせて沸き上がるように、沸き上げ(ヒートポンプ運転)開始時刻を調整する(ピークシフト機能)ためです。
	深夜時間帯終了時刻より早く運転が止まる	正常な動作です。タンクの残湯量が多い場合は、深夜時間帯終了時刻より早く、ヒートポンプ運転(沸き上げ)を終了することがあります。
	ヒートポンプ排水管から水が出る	正常な動作です。ヒートポンプ運転(沸き上げ)中は、空気中から熱を吸収するときに結露した水を排水します。
	底面から水が漏れている	ヒートポンプ排水管に折れ曲がり、つぶれ、先端の持ち上がりなどがあると、底面から水が漏れます。折れ曲がり、つぶれ、先端の持ち上がりをなくしてください。 外気の温度や湿度によっては、底面に結露することがあり、この水が漏れることがあります。
	ヒートポンプユニットの外板や設置面が濡れている	外気の温度や湿度によっては、ヒートポンプユニットの外板に結露することがあります。また、この水が落ちて設置面が漏れることがあります。
	蒸発器に霜が付く白くなる	正常な現象です。冬季に運転すると、蒸発器(アルミ部分)に霜が付くことがあります。
	運転、停止を繰り返す	正常な運転です。冬季に運転すると、蒸発器(アルミ部分)に霜が付くことがあり、この霜を取り除くための運転です。
	音がする	正常な動作です。ヒートポンプ運転(沸き上げや凍結防止運転)中は、お湯を沸かすためのコンプレッサーやファンの運転音がします。また外気の温度が低い冬季は、コンプレッサーやファンを高速運転するため運転音が大きくなる場合があります。
	使用休止中なのに運転する	正常な動作です。冬季など外気温が低いとき、凍結防止のため、自動的にヒートポンプを運転し、沸き上げを行います。



こんなときは		確認事項と処置方法
3 給湯	お湯が出ない お湯の出が悪い	タンク専用止水栓が閉じていませんか？ ⇒タンク専用止水栓を開けてください。 →P.4 断水していませんか？ 水圧が低くありませんか？ ⇒断水が復帰するのを待ってください。（復帰後しばらくは水圧が低い場合があります） 配管が凍結していませんか？ ⇒お買い上げの販売店または工事店へ連絡してください。 混合水栓を開いてもなかなかお湯が出ないのは、給湯配管内にある残留水が先に出るためです。 ⇒残留水が出切るとお湯になりますので、少しお待ちください。 給水継手部ストレーナが詰まっている。 ⇒お買い上げの販売店または工事店へ連絡し、給水ストレーナの清掃を依頼してください。（有償です）
		お湯の温度は、配管の放熱によって低くなることがあります。 ⇒リモコンの給湯温度（「▲」ボタン）を高くしてください。 →P.23 サーモスタット付き混合水栓からのお湯ではありませんか？ ⇒リモコンの給湯温度を、サーモスタット付き混合水栓の設定温度より約10℃高くしてください。 →P.22 タンク内のお湯の温度が低い（残湯量目盛が少ない、または表示されていない）と、リモコンの給湯温度のお湯になりません。 ⇒タンク内のお湯の温度が低くなるのは、お湯の使用量が多いためです。お湯を沸き上げる設定やお湯の使いかたなど、次のことを確認してください。 沸き上げ設定が「おまかせ節約」になっている。 ⇒「おまかせ多め」設定にしてください。 →P.43 使用休止中である。 →P.33 ⇒使用休止を取り消し、「タンク沸き増し」ボタンを押して、タンクにお湯を沸き上げてください。 →P.32 昼間時間帯にいつもより多く、または深夜時間帯（沸き上げ運転中）に多くお湯を使った。 ⇒「タンク沸き増し」ボタンを押してタンクにお湯を沸き上げてください。 →P.32 ⇒お湯をたくさん使用する予定があるときは、前日に沸き上げ設定を「おまかせ多め」にするか、湯切れ防止を「全量」に設定しておいてください。 →P.43,440 沸き上げ運転をしていないときに、タンク排水管からお湯が出ている。 ⇒「逃し弁」の点検を行ってください。 →P.41 ⇒タンク排水管からのお湯が止まらない場合は、お買い上げの販売店または工事店に連絡をしてください。
		次のような使いかたや現象は、お湯の温度が変化します。異常ではありません。 - 途中で給湯の流量を変える - 給湯中の水道水圧の変化 - 混合水栓の湯側の流量が少ない給湯 - 浴室シャワーと台所給湯の同時使用 - シャワーをいったん止め、しばらくしての再使用
	給湯しているときに  が表示しない	混合水栓の湯側の流量が少ない、混合水栓の水側で使用した場合は表示しません。「」の表示はタンク内のお湯を使用した時に表示します。

お困りのときは(つづき)

こんなときには、修理を依頼される前に確認を

こんなときは		確認事項と処置方法
3 給湯	給湯していないときに  が表示している	他の場所で給湯している場合は表示します。異常ではありません。 どの蛇口も使用していなくても表示する場合は、給湯配管から水漏れをしている場合があります。お買い上げの販売店または工事店へ連絡してください。
	お湯に油や臭いがある	お買い上げ直後は、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。異常ではありません。 ⇒しばらくしても油や臭いが消えない場合は、タンクのお湯の入れ替え、配管材料のなどの確認が必要です。お買い上げの販売店または工事店に連絡をしてください。
	お湯が白く濁って見える	異常ではありません。水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに、細かい泡となって出る現象です。少し時間をおくと消えます。
4 ふろ	湯はりができない 「湯量お知らせ」を受けつけない	タンクのお湯の量が少ない(残湯量目盛が3目盛ない)、またはお湯の温度が低いからです(残湯量目盛が3目盛以上ある)。 ⇒「タンク沸き増し」ボタンを押し、沸き上げを行ってから、再度「ふろ自動」ボタンを押して、湯はりを行ってください。
	湯はりが途中で止まる 「湯量お知らせ」を中止する	残湯量目盛は約45℃以上のお湯の量を表示しています。このため残湯量目盛が表示されていても、お湯の温度が45℃に近い場合は湯はり運転しなかったり、途中で中止することがあります。 また、タンクのお湯の温度が、ふろ温度より5℃以上高くないと湯はりはできません。
	水で湯はりする	湯はり温度の設定が「低温」になっていませんか？ ⇒適切な温度を設定してください。→P.24
	湯はりされたお湯の温度がぬるい、または熱い	湯はり温度の設定が低い、または高くありませんか？ 次回の湯はり温度が低い、または高くないように、湯はり温度の設定を確認・設定してください。
	湯はりされたお湯の湯量が少ない、または多い	湯はり湯量の設定が少ない、または多くありませんか？ ⇒湯量を多くするときは混合水栓(蛇口)を開いて、お湯を足してください。 ⇒湯量を少なくするときは、お湯をくみ出すか、排水してください。 次回の湯はり湯量が少ない、または多くならないように、湯はり湯用の設定を確認・設定してください。
	湯はりされたお湯の湯量が少ない	湯量お知らせ運転中に湯はり以外の給湯をした場合、他に給湯した分だけ、湯はりする湯量が少なくなります。 ⇒湯量お知らせ運転中は他の混合水栓(蛇口)から給湯しないでください。
5 リモコン	浴そうのお湯が青く見える 浴そうや洗面用具に青い線が付く	お湯が青く見えるのは、浴そうや光の色の加減によるものです。異常ではありません。 青い線は、銅配管から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応したものです。異常ではありません。 ⇒放置すると落ちにくくなります。こまめに浴室用洗剤で落としてください。
	表示画面が消えている	200V電源ブレーカー、または漏電遮断器のスイッチが「OFF」になっていませんか？ ⇒「ON」にしてください。 再度「OFF」になったときは、「OFF」のままにして、お買い上げの販売店、または工事店にご連絡ください。 停電していませんか？ ⇒停電の復帰を待ってください。→P.38 停電が復帰すると表示画面が表示されます。
	表示画面のバックライトが消える	バックライトは、約1分以上ボタン操作をしないと、節電のため自動的に消灯します。正常な動作です。 ⇒いずれかのボタンを押すと再点灯しますが、バックライトだけを点灯させたいときは  を押してください。

こんなときは		確認事項と処置方法
5 リモコン	表示画面が見にくい	表示画面は、リモコンの設置場所の明るさや温度などで変わります。 ⇒リモコンのコントラストの調整をしてください。 →P.12
	音声ガイドが出ない	音声ガイドが「切」設定になっていませんか？ ⇒「しんせつ」または「標準」の設定にしてください。 →P.45 ガイド・操作音量設定が「切」設定になっていませんか？ ⇒「小」「標準」「大」のいずれかの設定にしてください。 →P.45
	操作ボタンを押しても操作音が出ない	ガイド・操作音量設定が「切」設定になっていませんか？ ⇒「小」「標準」「大」のいずれかの設定にしてください。 →P.45
	深夜時間帯終了時に、残湯量目盛が5目盛まで表示されていない	深夜時間帯の沸き上げ運転中に、お湯を多く使用しませんでしたか？ ⇒沸き上げ運転中にお湯を多く使用すると、深夜時間帯だけでは5目盛まで沸き上げできない場合があります。異常ではありません。 「湯切れ防止設定」が「少量」または「全量」で、このような場合は、深夜時間帯終了後も沸き上げを行います。 お湯の使用量が少なく、お湯の沸き上げ量が少なくなっている。 ⇒お湯の使用量が少ない日が続くと、5目盛目まで沸き上げずに節約します。異常ではありません。
	沸き上げ設定をおすすめ設定に変更したが、お湯が足りなくなる、または余る	おすすめ設定は、昨日までの6日間の使用実績を基に表示しています。そのため、急に使用量が多くなった場合は、タンクのお湯が足りなくなり、急に使用量が少なくなった場合は余る場合があります。異常ではありません。 ⇒足りなくなった場合は、「タンク沸き増し」ボタンを押して、沸き上げてください。 →P.32
	シャワーを使用しているのに、シャワーアラーム画面が表示されない	シャワーアラームの設定が「しない」になっていませんか？ ⇒「する」の設定にしてください。 →P.29 シャワーの勢いが弱くありませんか？ または節水シャワーヘッドを使用していないですか？ ⇒シャワーの流量を4L/分以上に増やしてください。 →P.30 シャワーアラームの設定使用時間が長くないですか？ ⇒シャワーアラームの設定使用時間を短くしてください。 →P.29
	シャワーを使用していないのにシャワーアラーム画面が表示される	台所や洗面所などで、給湯を連続使用していませんか？ ⇒正常な動作です。シャワーを使用していなくても、ほかの蛇口からのお湯を連続で使用すると、シャワーアラーム画面が表示されます。 →P.29

仕様

■システム

	仕 様			
形式	BHP-ZA46PU	BHP-ZA37PU	BHP-Z46PU	BHP-Z37PU
仕向地	一般地(Ⅲ地域(平成25年基準では4地域)以南、外気温-10℃まで対応)			
適用電力制度	季節別時間帯別電灯型、時間帯別電灯型(通電制御対応)			
相数/定格電圧(定格周波数)	単相200V(50/60Hz)			
最大電流	18A	17A	18A	17A
沸き上げ温度範囲	約65℃～約90℃			
年間給湯効率(JIS) ^{※6}	3.3	3.3	3.3	3.3
区分		19		
冬期高温沸き上げ温度	90℃			
着霜期高温沸き上げ温度	90℃			

■貯湯ユニット

	仕 様			
形式	BHP-TAZA46P	BHP-TAZA37P	BHP-TAZ46P	BHP-TAZ37P
設置場所	屋外			
タンク容量	460L	370L	460L	370L
水側最高使用圧力	タンク側190kPa(減圧弁170kPa)			
外形寸法	2,101mm(高) 650mm(幅) 730mm(奥行)	1,771mm(高) 650mm(幅) 730mm(奥行)	2,101mm(高) 650mm(幅) 730mm(奥行)	1,771mm(高) 650mm(幅) 730mm(奥行)
質量(製品質量/満水時質量)	70kg/約530kg	61kg/約431kg	70kg/約530kg	61kg/約431kg
消費電力	4W			
制御用				

■ヒートポンプユニット

	仕 様			
形式	BHP-HA60P	BHP-HA45P	BHP-HA60P	BHP-HA45P
外形寸法	720mm(高)×792mm(幅)×299mm(奥行)			
質量	47kg	45kg	47kg	45kg
中間期標準加熱能力/消費電力 ^{※2 ※3}	6.0kW/1.45kW	4.5kW/1.05kW	6.0kW/1.45kW	4.5kW/1.05kW
中間期標準運転電流 ^{※2 ※3}	7.6A	5.7A	7.6A	5.7A
冬期高温加熱能力/消費電力 ^{※1 ※2 ※4}	6.0kW/2.00kW	4.5kW/1.50kW	6.0kW/2.00kW	4.5kW/1.50kW
運転音 ^{※5(中間期 ※3/冬期高温 ※4)}	42dB(A)/44dB(A)	38dB(A)/43dB(A)	42dB(A)/44dB(A)	38dB(A)/43dB(A)
冷媒名および封入量	R744(CO ₂)/0.64kg	R744(CO ₂)/0.56kg	R744(CO ₂)/0.64kg	R744(CO ₂)/0.56kg
設置可能最低外気温	-10℃			
設計圧力	高圧部 13.3MPa/低圧部 8.0MPa			

- ※1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
- ※2 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
- ※3 作動条件：外気温(乾球温度/湿球温度) 16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃
- ※4 作動条件：外気温(乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃
- ※5 運転音はJIS C 9220:2011に準拠し、反響音の少ない無響音室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示値よりも大きくなるのが普通です。
- ※6 JIS C 9220:2011に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量およびふろ保温熱量を表したものです。
年間給湯保温効率(JIS)=1年間で使用する給湯とふろ保温に係わる熱量 ÷ 1年間に必要な消費電力量
なお、値は下記条件で算出した値であり、実際には地域条件、運転モードの設定やご使用条件等により変わります。
年間給湯保温効率(JIS)算出時の条件
・着霜期高温条件：外気温(乾球温度/湿球温度) 2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃
・冬期給湯モード条件：外気温(乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温7℃、沸き上げ温度65℃(BHP-ZA46PU、BHP-Z46PU)
66℃(BHP-ZA37PU、BHP-Z37PU)
・着霜期給湯保温モード条件：外気温(乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温7℃、沸き上げ温度65℃(BHP-ZA46PU、BHP-Z46PU)
66℃(BHP-ZA37PU、BHP-Z37PU)
・夜間消費電力量比率(JIS C9220：2011冬期給湯モード条件時)：80%(BHP-ZA37PU、BHP-Z37PU、BHP-ZA46PU、
BHP-Z46PU)

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

用語集

ふだん聞きなれない
用語や混同しやすい
用語を説明します。



電力契約番号

電力契約名称に対応した、リモコン設定用の日立独自の番号のこと

→P.42

沸き上げ

手動もしくは自動でヒートポンプユニットがお湯を沸かすこと

→P.43

タンク沸き増し

手動操作でヒートポンプユニットでお湯を沸かすこと

→P.32

湯切れ防止

タンクのお湯が減ると自動的にヒートポンプユニットがお湯を沸かすこと

→P.44

湯量お知らせ

設定した「湯量」を給湯すると、音声と画面表示でお知らせする機能のこと

→P.25

湯はり湯量設定

「湯量お知らせ」で給湯する湯量のこと

→P.24

オートストップ

「湯量お知らせ」運転終了時に、自動で給湯を停止する機能のこと

→P.25

2温度設定

通常の給湯温度と「湯量お知らせ」時の温度を別々に設定すること。

→P.24

給湯温度

台所や洗面所、浴室などの蛇口やシャワーから出るお湯の温度のこと

→P.23

湯はり温度

通常の給湯温度とは別に「湯量お知らせ」運転時のお湯の温度のこと

→P.24

混合水栓

お湯と水を混ぜて1つの蛇口から出せる水栓のこと

→P.22

残湯量

タンク内にある45℃以上のお湯の量のこと

→P.28

使用湯量

タンク内のお湯全部を給湯温度のお湯に換算したときの量のこと

→P.28

タンク専用止水栓

タンク内への水道水給水を止めるための栓のこと

→ P.4

タンク排水栓

タンク内のお湯（水）を排水するための栓のこと

→ P.3

タンク排水管

タンク内のお湯（水）の出口のこと

→ P.4

保証とアフターサービス

保証書(添付)・保証期間

保証書は、必ず「お買い上げ日、お買い上げ販売店名(工事店名)」などの記入をお確かめのうえ、お買い上げ販売店(工事店)からお受け取りください。内容をよくお読みになり、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

ただし、冷媒回路(コンプレッサー、水加熱用熱交換器、空気用熱交換器、冷媒経路配管など)は3年間、タンク(缶体)は5年間です。

※タンク(缶体)は貯湯ユニット内の湯水を貯めるタンクのことで貯湯ユニットのことではありません。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

技術的なお問い合わせは

右記の「技術相談センター」へお問い合わせください。

修理を依頼される時は(出張修理)

50～54ページ「お困りのときは」の確認をしていただき、なお異常があるときは、漏電遮断器のスイッチを「OFF」(または200Vブレーカーを「OFF」)にしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。(凍結のおそれがある場合は、「OFF」にしないでください。)連絡先が不明の場合は右記の「修理コールセンター」へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

製品名	日立ヒートポンプ給湯機
形式	保証書に記載されています
お買い上げ日	年 月 日
お買い上げ店名	
異常の内容	できるだけ詳しく
お名前	
ご住所	付近の目印なども
お電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金

保証期間中は	保証書の規定に従って修理させていただきます。
保証期間が過ぎている場合は	修理によって使用できるようになる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします。

※施工上の不具合による故障および損傷が生じた場合、据付説明、取扱説明を依頼された場合は、保証期間内であっても、無償保証の対象外になります。

弊社の連絡先電話番号

修理コールセンター

(0120) 649-020 (携帯電話からも可)

受付時間 365日・24時間受付

技術相談センター

(0120) 578-011 (携帯電話からも可)

受付時間 9:00～17:00

サービスエンジニアリングセンター

受付時間 9:00～17:00 (土日祭日を除く)

北海道 (011) 717-5146

〒060-0809

札幌市北区北9条西3-10-1 (小田ビル8階)

東北 (022) 225-5972

〒980-0065

仙台市青葉区土樋1-1-11

東京 (03) 3649-3811

〒135-0016

東京都江東区東陽5-29-17 (住友不動産東陽ビル)

北陸 (076) 429-6861

〒939-8214

富山市黒崎627-3

中部 (0568) 72-0131

〒485-0072

小牧市元町4-66

関西 (06) 6303-6159

〒532-0022

大阪市淀川区野中南2-11-27

中国 (082) 283-9374

〒735-0029

広島県安芸郡府中町茂陰1-9-20

四国 (087) 833-8701

〒760-0078

高松市今里町2-21-5

九州 (092) 561-4854

〒815-0031

福岡市南区清水4-9-17

※所在地・電話番号などは、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には電話対応の品質向上のため、通話内容を録音させていただいております。

ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

お客様メモ

お買い上げ日、お買い上げ販売店(工事店)を記入しておいてください。アフターサービスを依頼される時便利です。

お買い上げ日	年 月 日
お買い上げ販売店(工事店)	
電話番号	

定期点検契約（有料）のおすすめ

このヒートポンプ給湯機を長期間安心してご使用いただくために、3～4年に1度、専門技術者による点検（有料）をおすすめします。なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。

定期点検の契約については、お買い上げの販売店、または左記の「サービスエンジニアリングセンター」へご相談ください。

点検の結果、部品交換が必要なものは有料で交換します。

設置条件、使用条件、特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な保守・点検が必要です。

長期間（10 年程度）使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。ただし補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 10 年となっており、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

定期点検の主な項目と内容

据付け状態	設置状態／配管接続部の水漏れ／配管などの保温状態／電気絶縁の点検
機能部品	電気部品（配線・導通・動作）／弁類（減圧弁・逃し弁など）の点検
清掃	タンク内（沈殿物）／給水継手部ストレーナ（目詰まり）の清掃

消耗部品（有料）

減圧弁／逃し弁／混合弁／電動弁／三方弁／パッキン類／センサー類／ゴムホース
（使用水質によっては 3 年程度で消耗する場合があります。）

愛情点検



長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！

ご使用の際こんな症状はありませんか？

- 運転中以外に逃し弁から水が漏れる。
- 漏電遮断器のスイッチが自動的に「OFF」になる。
- 本体や配管から水が漏れる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

- 故障や事故防止のため、「電源ブレーカ」を切り、「タンク専用止水栓」を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

58

